

# 四日市市高齢者介護に関する調査結果報告書

## 〔在宅介護実態調査〕

令和2年3月  
四日市市



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1.調査の目的.....	1
2.調査の方法.....	1
3.配布・回収数.....	1
4.報告書の見方(注意事項).....	1
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
調査対象者ご本人について.....	2
問 1 介護サービスなどについて.....	6
問 2 今後の介護について.....	26
問 3 介護保険制度やサービスについて.....	37
問 4 相談などについて.....	40
問 5 ご家族などからの介護について.....	50
問 6 主な介護者の方について【介護者への質問】.....	52
問 7 主な介護者の方の就労について【介護者への質問】.....	71
問 8 認知症について【介護者への質問】.....	77
問 9 これからの高齢者介護について【介護者への質問】.....	86
属性情報.....	95

# I 調査の概要

## 1.調査の目的

四日市市では、令和3年度からの次期「介護保険事業計画」および「高齢者福祉計画」の策定作業を進めています。この調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の福祉全般にかかわる各種サービス提供を充実させるための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

## 2.調査の方法

- ①調査対象地域 四日市市全域
- ②調査対象者 四日市市にお住まいの要介護1～5の認定を受けている在宅の人
- ③調査期間 令和元年12月(調査基準日は令和元年12月1日)
- ④調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

## 3.配布・回収数

配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
1,500	803	53.5%	25	778	51.9%

## 4.報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中のN数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(表中)の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ⑤ 参考として代表的な設問に対しクロス集計分析を行っています。その際、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。
- ⑥ 性・年齢別クロス集計については、『64歳以下男』、『65～74歳男』、『75～84歳男』、『85歳以上男』、『64歳以下女』、『65～74歳女』、『75～84歳女』、『85歳以上女』の8区分で集計します。
- ⑦ 地区別クロス集計については、日常生活圏域のブロックである『北ブロック』、『中ブロック』、『南ブロック』の3区分での集計を基本とし、必要に応じて24の日常生活圏域別の集計を行います。なお、『わからない』については回答者数が少ないため本報告書では割愛しています。
- ⑧ 要介護度別クロス集計については、『要介護1』、『要介護2』、『要介護3』、『要介護4』、『要介護5』、『要支援1』、『要支援2』の7区分で集計しますが、『要支援1』、『要支援2』については回答者数が少ないため本報告書では割愛しています。

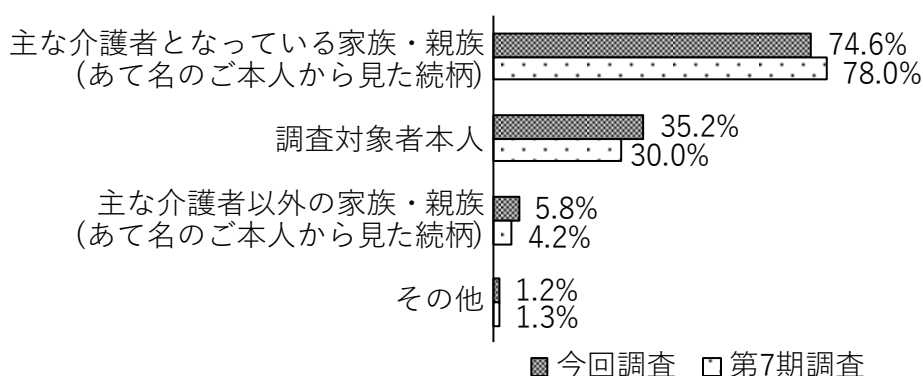
## II 調査結果

### 調査対象者ご本人について

(1) 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=728、783(第7期調査)】

調査票の回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が74.6%で最も高く、次いで、「調査対象者本人」が35.2%で続いています。

第7期調査と比較すると、「調査対象者本人」が5.2ポイント上昇し、「主な介護者となっている家族・親族」が3.4ポイント低下しています。

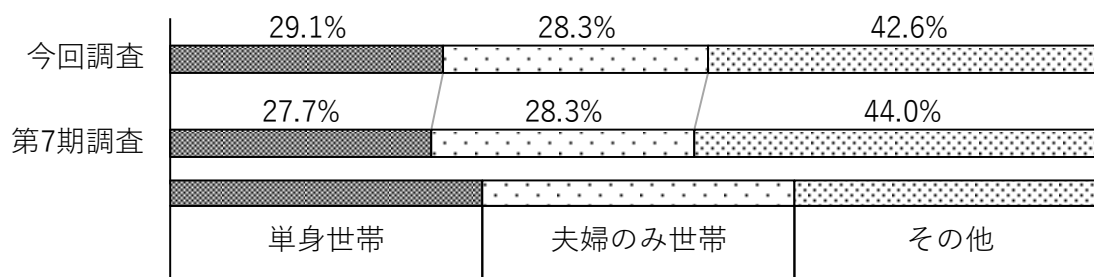


(2) ご本人の世帯類型について、ご回答ください。(○はひとつ)

【N=728、770(第7期調査)】

世帯類型については、「その他」が42.6%を占めており、「単身世帯」は29.1%、「夫婦のみ世帯」は28.3%となっています。

第7期調査と比較すると、「単身世帯」が1.4ポイント上昇しています。



### 要介護度別クロス

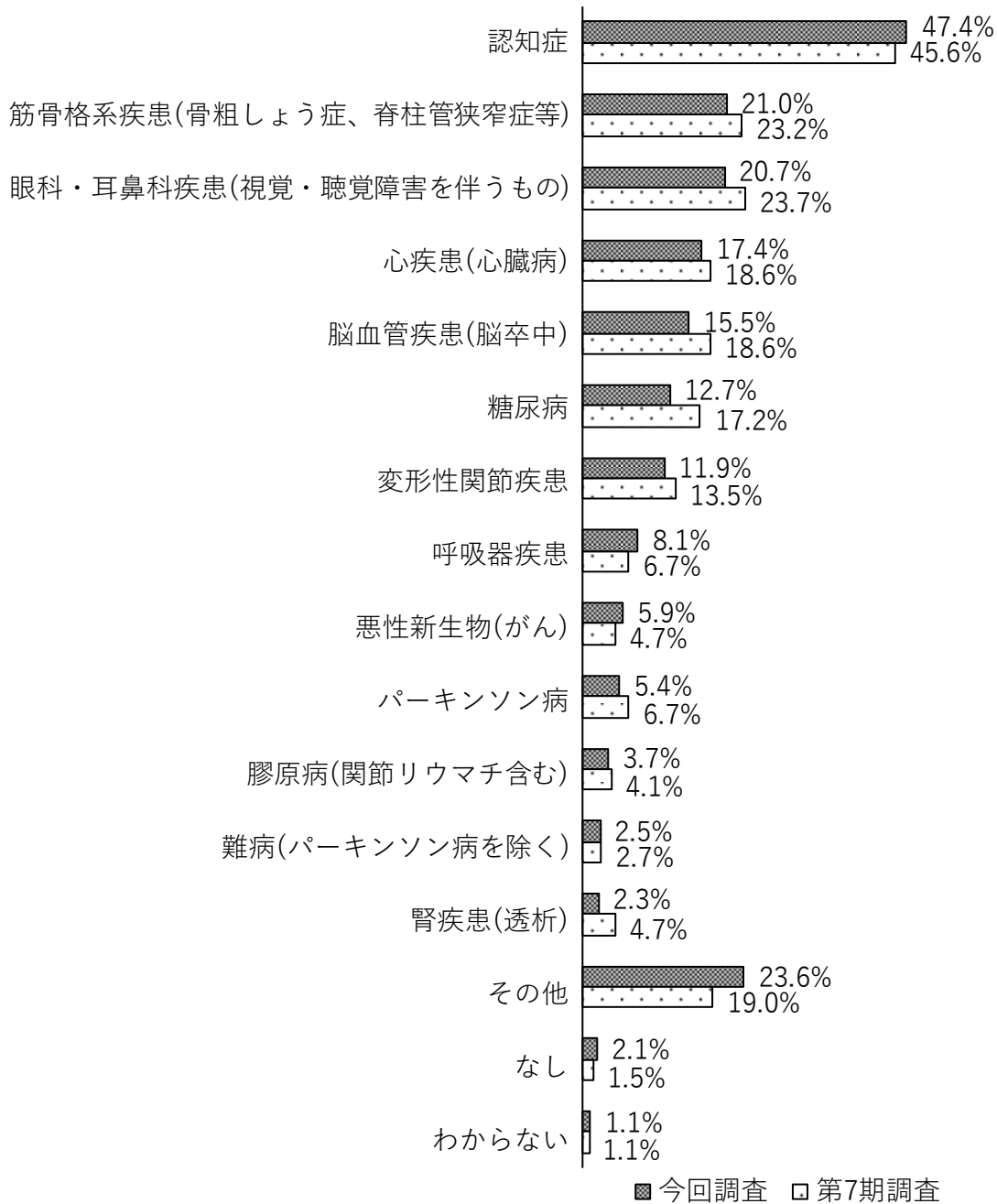
要介護度別にみると、いずれの要介護度でも全体結果と同様に「その他」が最も高くなっています。また、『要介護2』では「単身世帯」が29.7%、『要介護3』では「夫婦のみ世帯」が35.4%あり、それぞれ他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他
全体	726	28.9	28.4	42.7
要介護1	375	29.1	27.7	43.2
要介護2	165	29.7	26.1	44.2
要介護3	82	29.3	35.4	35.4
要介護4	60	25.0	28.3	46.7
要介護5	41	29.3	29.3	41.5

(3) ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(当てはまるものすべてに○) 【N=724、790(第7期調査)】

現在抱えている傷病については、「認知症」が47.4%で最も高く、次いで、「筋骨格系疾患」(21.0%)、「眼科・耳鼻科疾患」(20.7%)、「心疾患(心臓病)」(17.4%)と続いています。

第7期調査と比較すると、「その他」が4.6ポイント、「認知症」が1.8ポイント、それぞれ上昇しています。一方、「糖尿病」が4.6ポイント、「脳血管疾患」が3.1ポイント、「眼科・耳鼻科疾患」が3.0ポイント、それぞれ低下しています。



## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも全体結果と同様に「認知症」が最も高くなっています。また、『要介護1』では「眼科・耳鼻科疾患」が、『要介護2』『要介護3』『要介護4』では「その他」が、『要介護5』では「脳血管疾患」が、それぞれ2番目に高くなっています。

	合計	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含 む)	変形性関節疾患
全体	722	15.4	17.3	6.0	8.2	2.4	20.9	3.7	11.8
要介護1	371	11.1	18.6	5.1	8.6	0.8	23.5	4.0	13.7
要介護2	165	20.6	17.0	10.3	9.1	4.8	21.8	3.6	7.9
要介護3	81	13.6	13.6	7.4	4.9	3.7	18.5	3.7	12.3
要介護4	62	21.0	16.1	1.6	6.5	4.8	12.9	3.2	12.9
要介護5	40	30.0	12.5	-	10.0	-	10.0	2.5	7.5

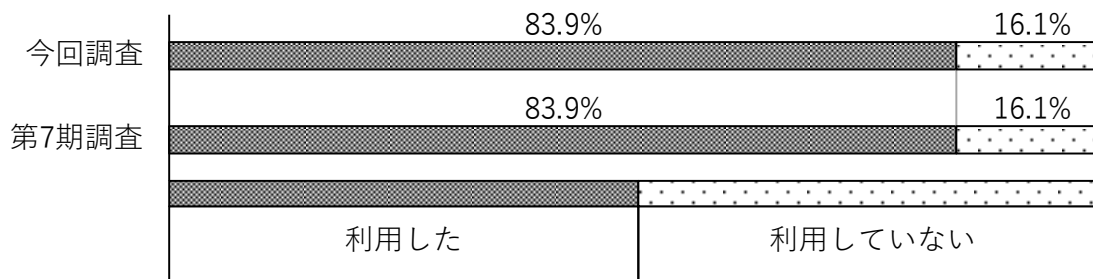
	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 を伴うもの (視覚・聴覚)	その他	なし	わからない
全体	47.4	5.4	2.5	12.6	20.8	23.7	2.1	1.1
要介護1	46.9	4.6	3.2	11.3	23.7	20.2	2.4	1.3
要介護2	44.8	3.6	2.4	15.2	21.8	29.7	0.6	-
要介護3	54.3	6.2	-	12.3	16.0	28.4	2.5	1.2
要介護4	46.8	8.1	1.6	16.1	14.5	24.2	3.2	1.6
要介護5	52.5	15.0	2.5	10.0	10.0	20.0	2.5	2.5



## 問1 介護サービスなどについて

(1) 最近1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○はひとつ) 【N=739、777(第7期調査)】

介護保険サービスの利用については、最近1か月の間に介護保険サービスを「利用した」は83.9%に上ります。一方、「利用していない」は16.1%となっています。



### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』と『その他』では「利用した」が85%以上に上ります。一方、『夫婦のみ世帯』では「利用していない」は21.1%あります。

	合計	利用した	利用していない
全体	703	84.6	15.4
単身世帯	205	87.3	12.7
夫婦のみ世帯	199	78.9	21.1
その他	299	86.6	13.4

### 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「利用した」は76.2%と、他の要介護度に比べて低くなっていますが、その他の要介護度ではいずれも利用率は80%を超えており、『要介護4』では90.6%に上っています。

	合計	利用した	利用していない
全体	738	84.0	16.0
要介護1	373	81.5	18.5
要介護2	174	87.4	12.6
要介護3	82	87.8	12.2
要介護4	64	90.6	9.4
要介護5	42	76.2	23.8

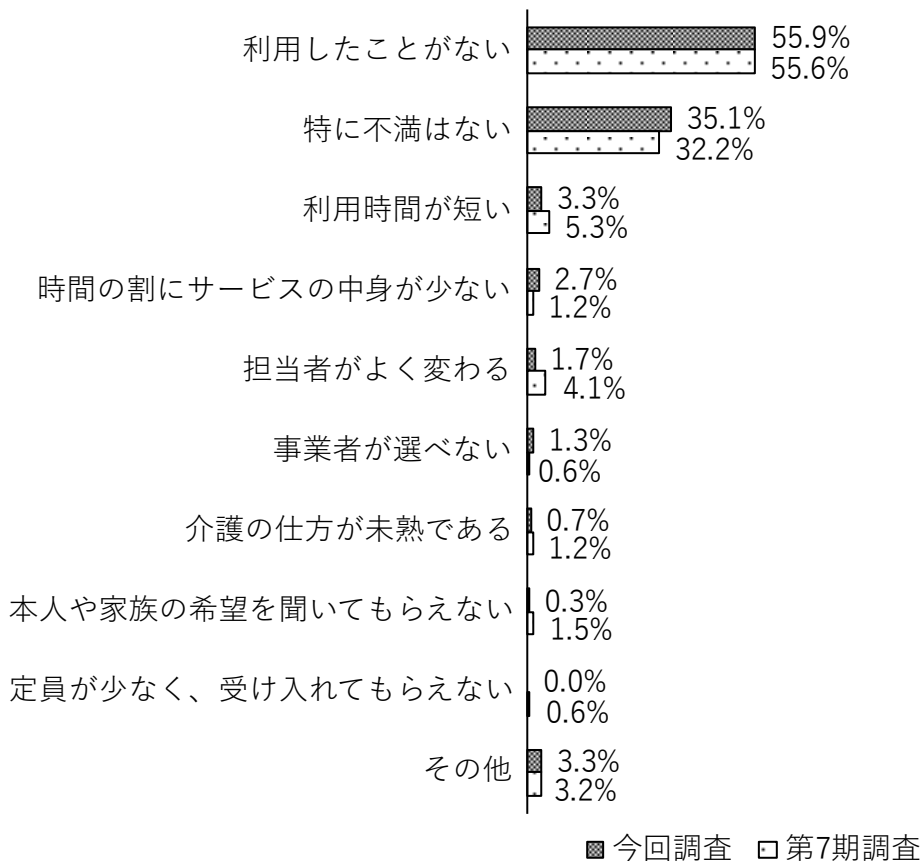
## 【(1)で「1.利用した」を選んだ人に伺います。】

(2) 次の①～⑪の介護保険サービスについて、不満があるとすれば何ですか。(当てはまるものすべてに○)

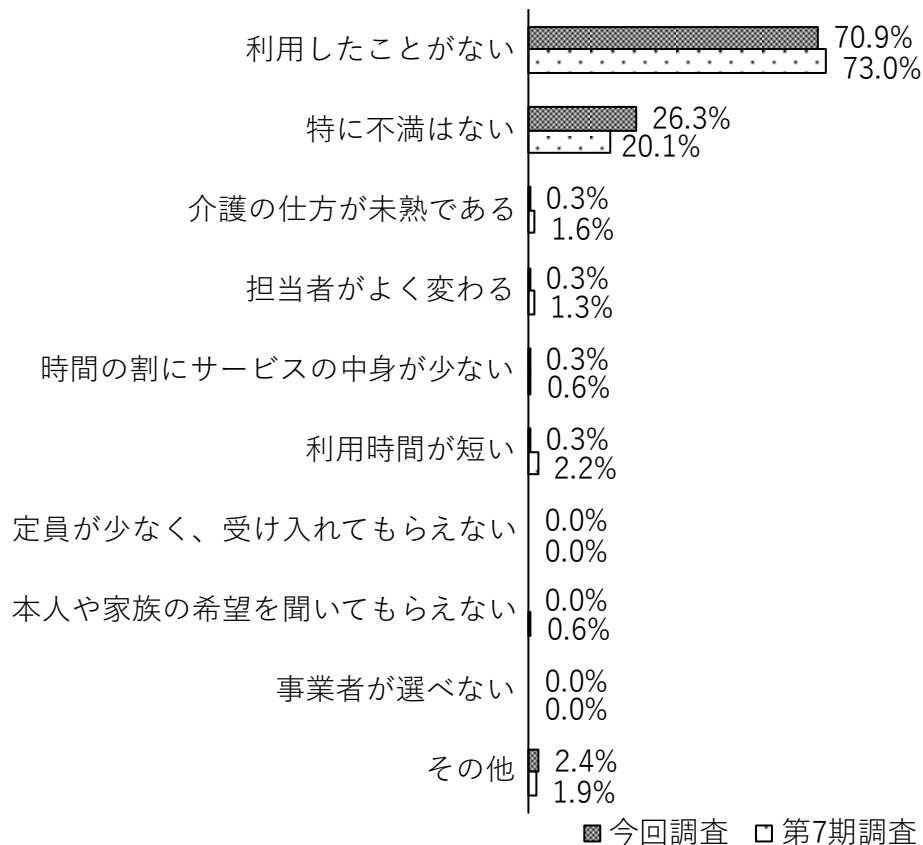
利用したことがある介護保険サービスについては、いずれのサービスも「特に不満はない」が高く、「⑤通所介護」では77.4%と、満足度は高いと言えます。不満な点については、少数ではありますが、「⑤通所介護」では「時間の割にサービスの中身が少ない」(5.0%)や「利用時間が短い」(3.0%)が、「①訪問介護」では「利用時間が短い」(3.3%)などが挙がっています。

第7期調査と比較すると、「⑧看護小規模多機能型居宅介護」以外の介護保険サービスでは、「特に不満はない」がいずれも上昇しており、特に「②訪問入浴介護」では6.2ポイント上昇しています。一方、「⑤通所介護」では「時間の割にサービスの中身が少ない」が1.8ポイント上昇しています。

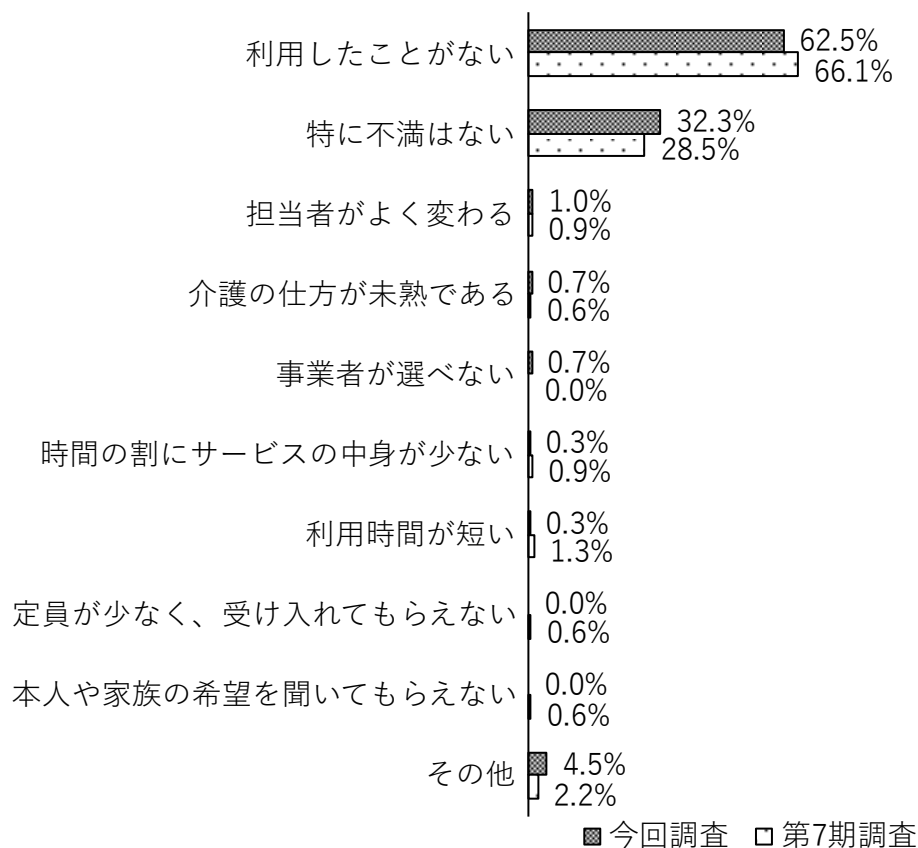
## ①訪問介護(ホームヘルプサービス) 【N=299、342(第7期調査)】



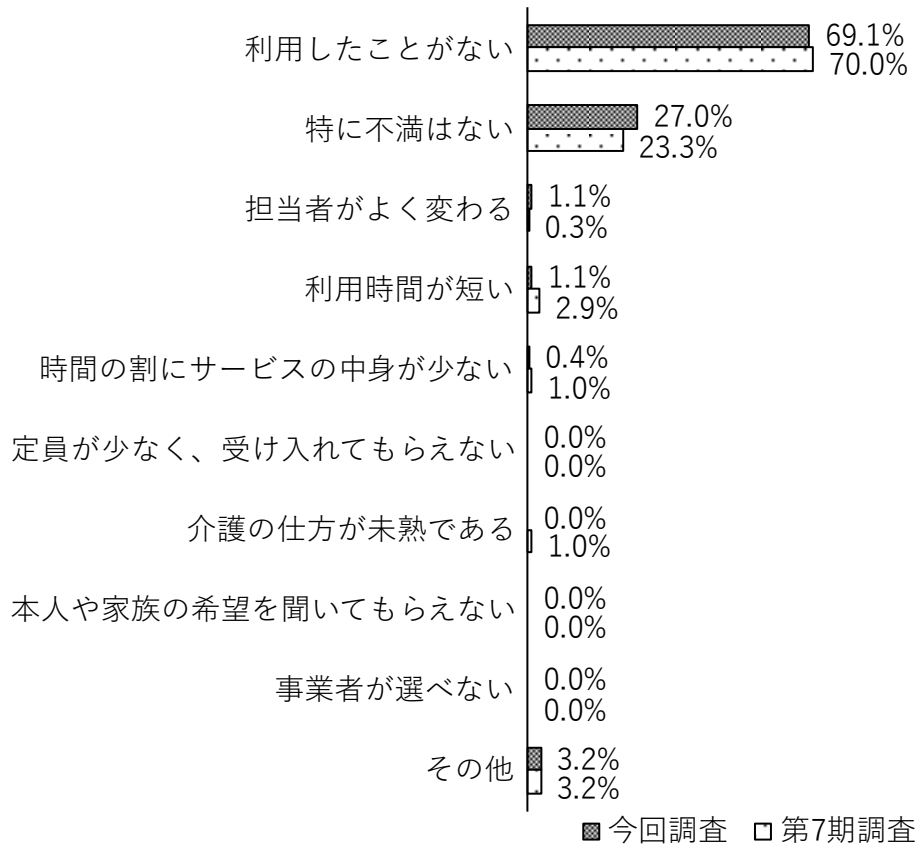
②訪問入浴介護【N=289、319(第7期調査)】



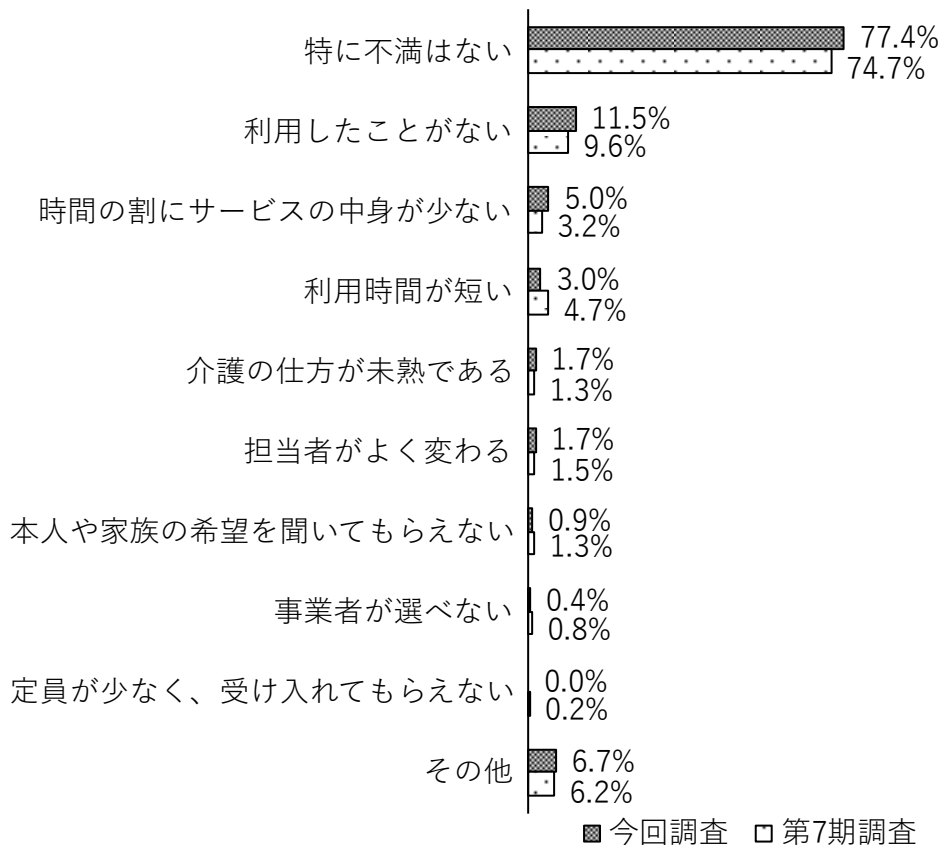
③訪問看護【N=291、316(第7期調査)】



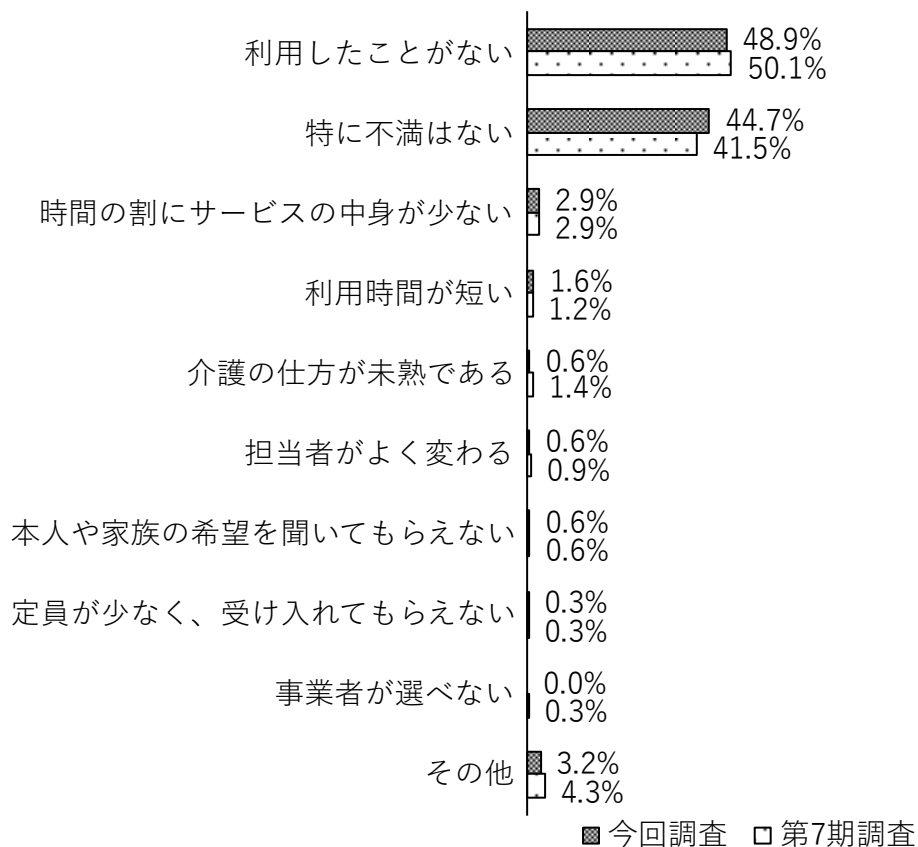
## ④訪問リハビリテーション【N=282、313(第7期調査)】



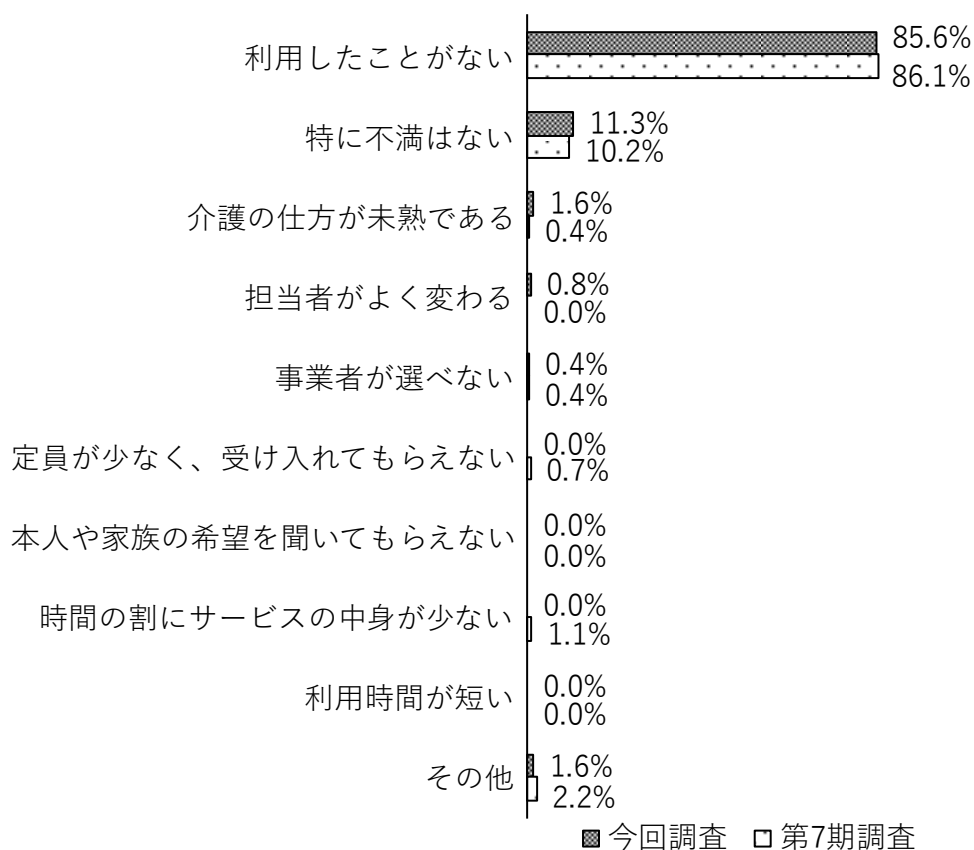
## ⑤通所介護(デイサービス)【N=460、471(第7期調査)】



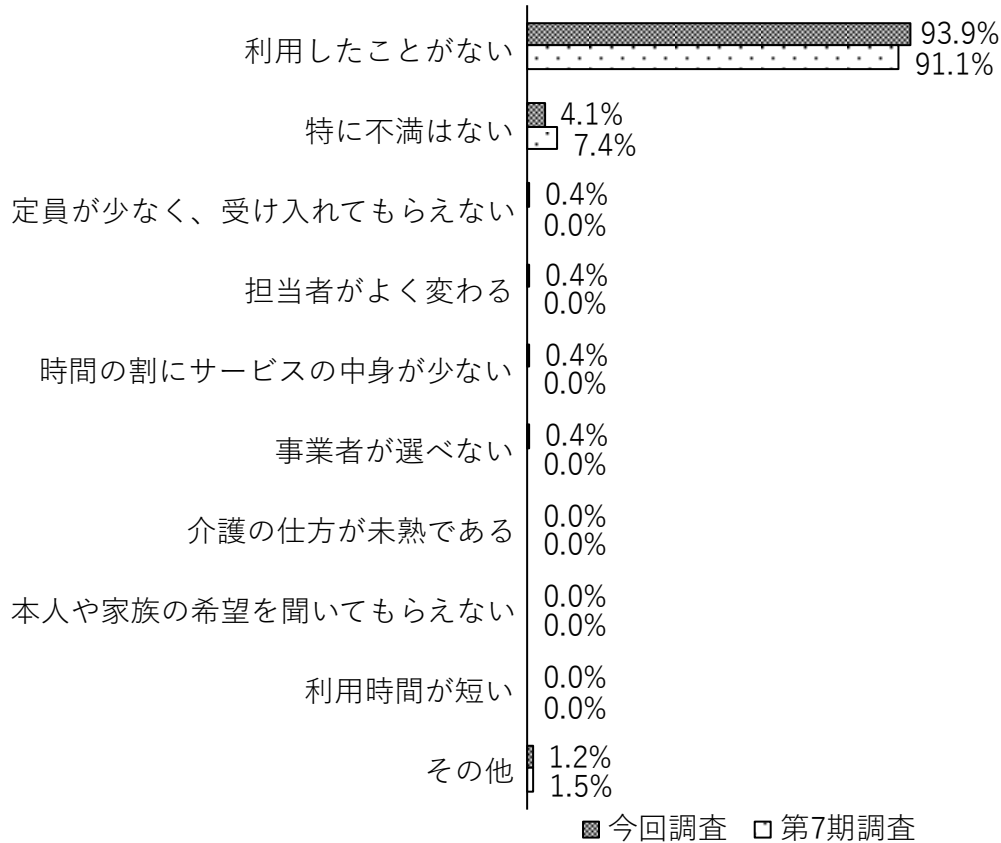
⑥通所リハビリテーション(テイクア) 【N=313、347(第7期調査)】



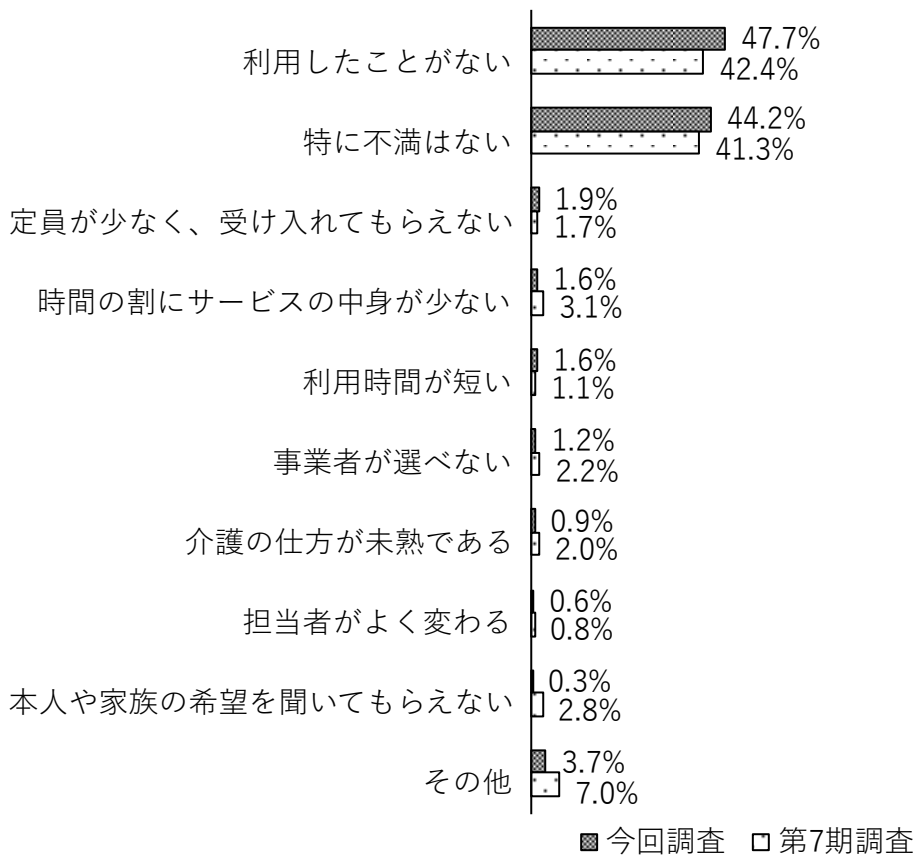
⑦小規模多機能型居宅介護 【N=257、274(第7期調査)】



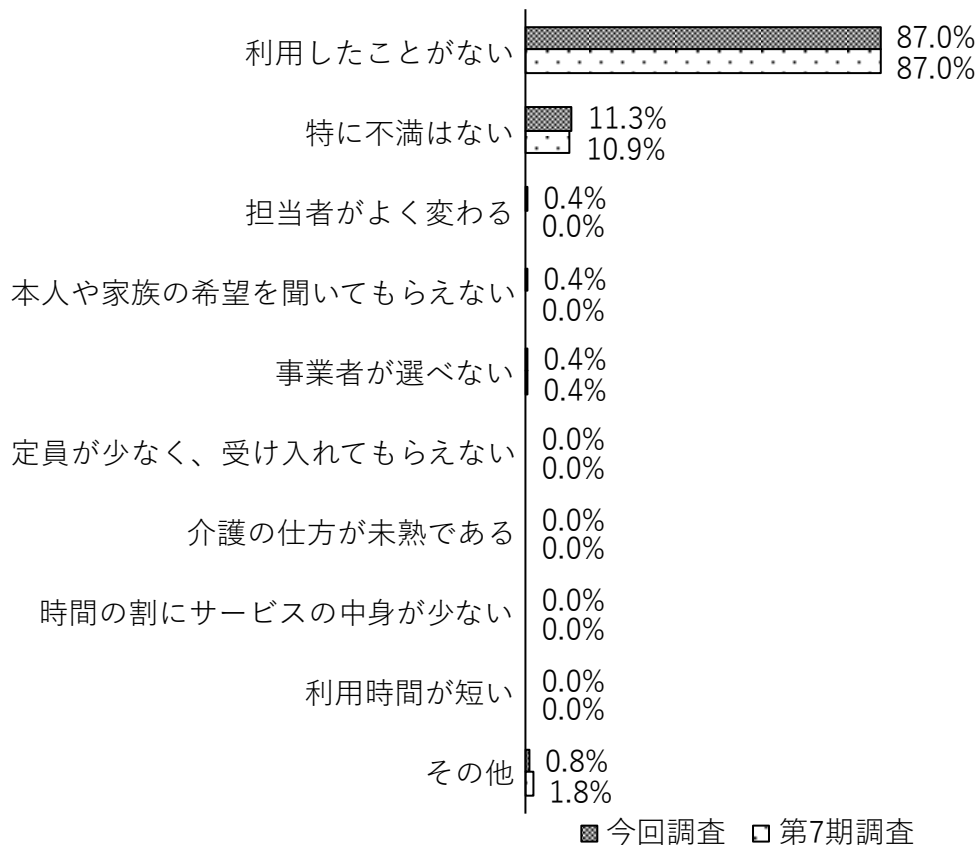
## ⑧看護小規模多機能型居宅介護【N=245、270(第7期調査)】



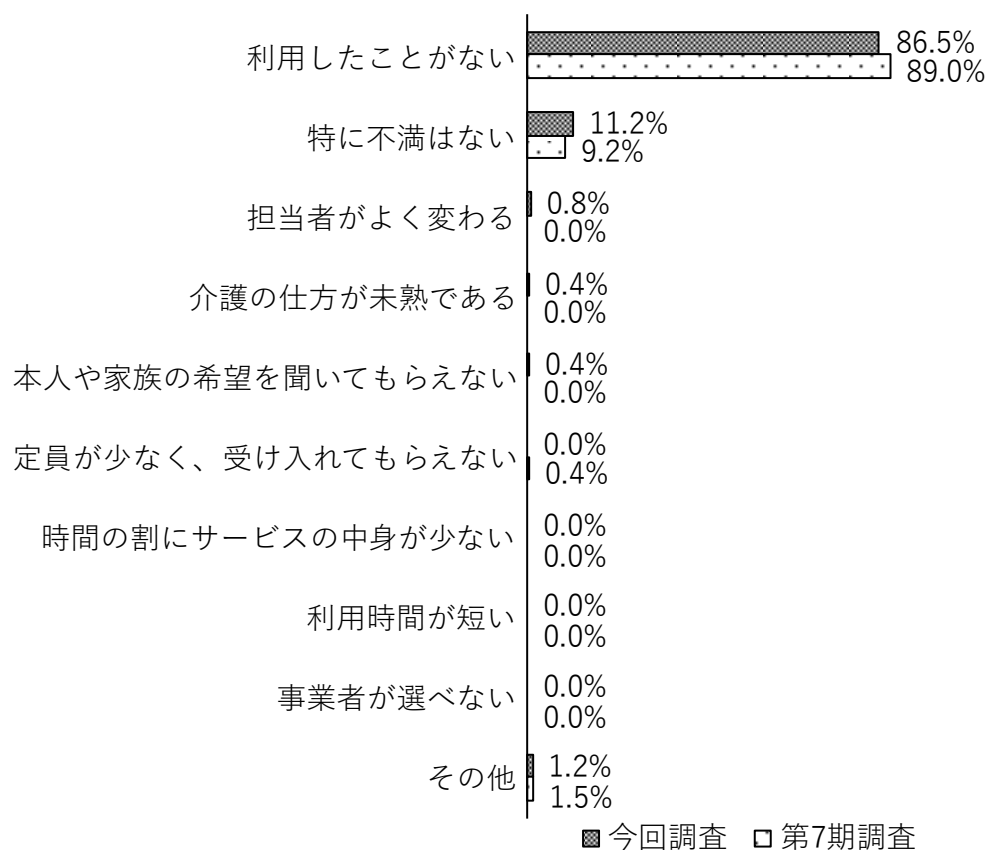
## ⑨ショートステイ【N=321、356(第7期調査)】



⑩居宅療養管理指導【N=247、276(第7期調査)】



⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護【N=251、273(第7期調査)】

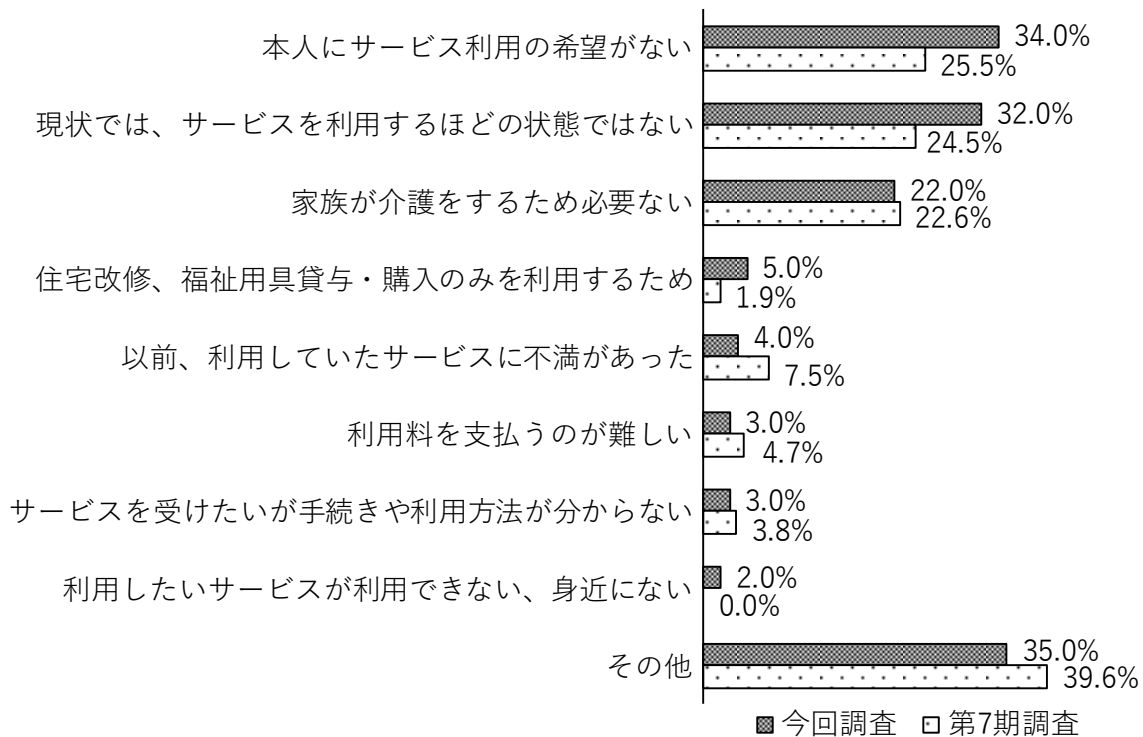


## 【(1)で「2.利用していない」を選んだ人に伺います。】

(3) 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに  
○) 【N=100、106(第7期調査)】

介護保険サービスを利用していない理由については、「その他」が35.0%で最も高くなっていますが、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」(34.0%)、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(32.0%)、「家族が介護をするため必要ない」(22.0%)が続き、認定を受けたものの、必要性の低さから利用していない人が多いと言えます。

第7期調査と比較すると、「本人にサービス利用の希望がない」が8.5ポイント、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が7.5ポイント、それぞれ上昇しており、サービス利用の必要性が低いものの要介護認定がある人が増えていると言えます。一方、「以前、利用していたサービスに不満があった」や「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」などの、本来は利用希望があるにもかかわらず利用していない理由は、それぞれ3.5ポイント、1.7ポイント、0.8ポイント低下しています。





### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『夫婦のみ世帯』では「本人にサービス利用の希望がない」が、『その他』では全体結果と同様に「その他」が、それぞれ最も高くなっています。また、『単身世帯』では「本人にサービス利用の希望がない」と「その他」が同率で高くなっています。

	合計	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続が分からない	その他
全体	91	34.1	35.2	19.8	3.3	3.3	2.2	4.4	3.3	36.3
単身世帯	21	33.3	38.1	14.3	-	-	-	-	4.8	38.1
夫婦のみ世帯	34	35.3	41.2	26.5	8.8	2.9	2.9	5.9	5.9	17.6
その他	36	33.3	27.8	16.7	-	5.6	2.8	5.6	-	52.8

### 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護3』以上では「その他」が最も高くなっていますが、『要介護1』では「本人にサービス利用の希望がない」が、『要介護2』では「家族が介護をするため必要ない」が、それぞれ最も高くなっています。

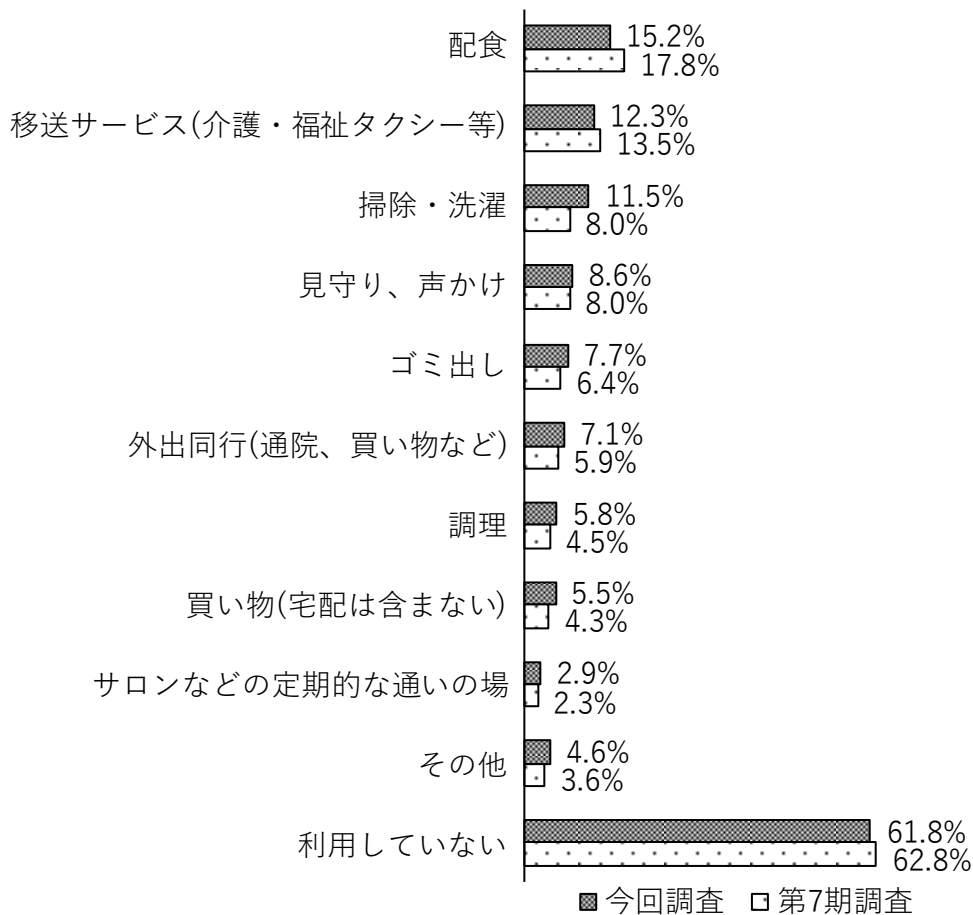
	合計	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続が分からない	その他
全体	99	32.3	34.3	22.2	4.0	3.0	2.0	5.1	3.0	34.3
要介護1	58	44.8	51.7	19.0	5.2	-	1.7	5.2	3.4	20.7
要介護2	18	16.7	22.2	44.4	5.6	11.1	5.6	11.1	5.6	27.8
要介護3	8	12.5	-	25.0	-	-	-	-	-	62.5
要介護4	6	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	66.7
要介護5	8	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

(4) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(当てはまるものすべてに○) 【N=659、690(第7期調査)】

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が61.8%で最も高くなっています。利用している支援・サービスとしては、「配食」が15.2%で最も高く、次いで、「移送サービス」(12.3%)、「掃除・洗濯」(11.5%)、「見守り、声かけ」(8.6%)が続いています。

第7期調査と比較すると、「掃除・洗濯」が3.5ポイント上昇する一方、「配食」が2.6ポイント低下しています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「利用していない」が最も高くなっています。一方、『単身世帯』では支援・サービスの利用が他の世帯類型に比べて高い傾向にあり、「配食」「調理」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」などで特に高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送サービス等）	見守り、声かけ	通いの場	サロンの定期的な	その他	利用していない
全体	627	15.3	5.9	11.6	5.3	7.8	7.3	11.5	8.5	2.7	4.3	62.7	
単身世帯	186	26.9	10.8	21.0	9.7	15.1	10.2	10.2	14.0	1.6	3.8	50.5	
夫婦のみ世帯	174	13.2	5.2	9.2	6.3	8.6	8.6	13.2	9.2	1.1	4.0	60.9	
その他	267	8.6	3.0	6.7	1.5	2.2	4.5	11.2	4.1	4.5	4.9	72.3	

## 要介護度別クロス

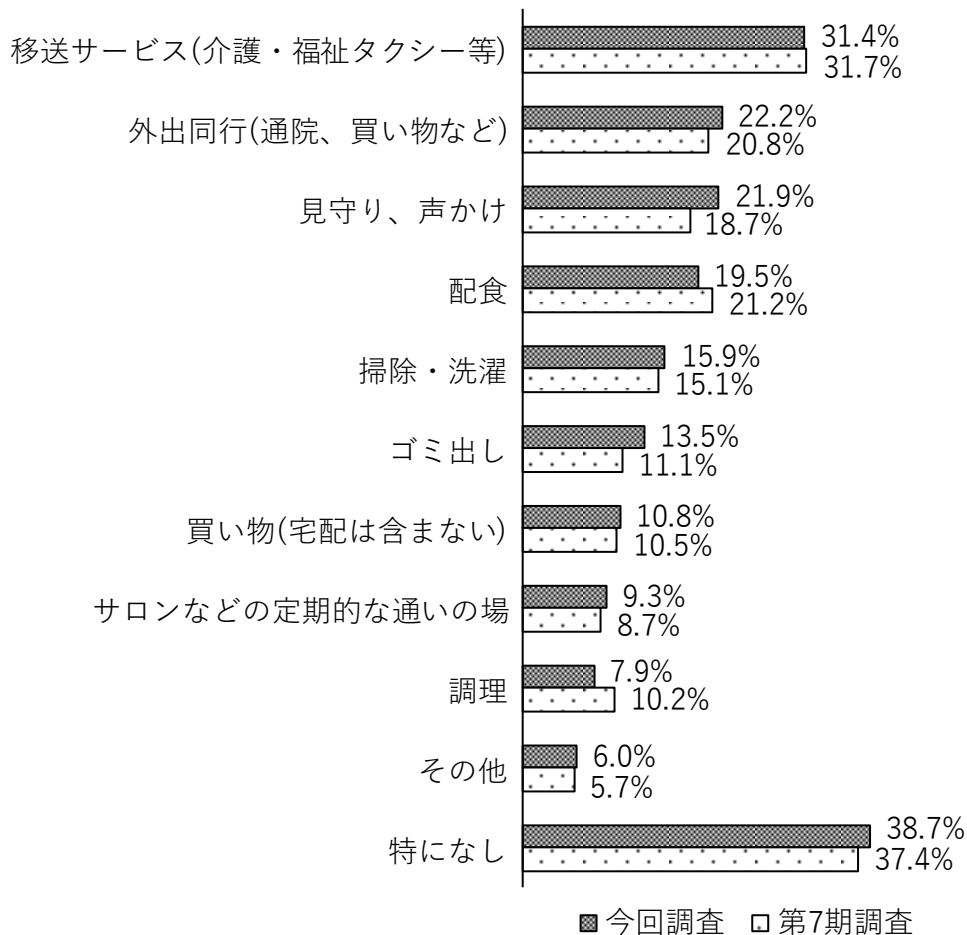
要介護度別にみると、いずれの要介護度でも全体結果と同様に「利用していない」が最も高くなっています。また、『要介護1』では「配食」が、『要介護2』では「掃除・洗濯」が、『要介護3』以上では「移送サービス」が、それぞれ2番目に高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送サービス等）	見守り、声かけ	通いの場	サロンの定期的な	その他	利用していない
全体	657	15.2	5.8	11.6	5.5	7.8	7.2	12.3	8.7	2.9	4.6	61.6	
要介護1	338	16.3	3.8	10.1	5.9	8.0	8.0	7.7	6.5	4.1	4.7	61.5	
要介護2	153	13.7	11.8	15.7	7.8	10.5	6.5	13.7	10.5	0.7	4.6	64.7	
要介護3	74	13.5	2.7	12.2	2.7	6.8	8.1	17.6	14.9	2.7	-	63.5	
要介護4	56	8.9	5.4	8.9	3.6	3.6	3.6	17.9	5.4	-	8.9	60.7	
要介護5	34	23.5	5.9	11.8	-	2.9	2.9	32.4	14.7	5.9	5.9	47.1	

(5) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。  
(当てはまるものすべてに○) 【N=636、669(第7期調査)】

在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスについては、「特になし」が38.7%で最も高くなっています。必要だと感じる支援・サービスとしては、「移送サービス」が31.4%で最も高く、次いで、「外出同行」(22.2%)、「見守り、声かけ」(21.9%)が続いています。

第7期調査と比較すると、「見守り、声かけ」が3.2ポイント、「ゴミ出し」が2.4ポイント、それぞれ上昇し、「調理」が2.3ポイント低下しています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『夫婦のみ世帯』では「特になし」と「移送サービス」が同率で、『単身世帯』と『その他』では「特になし」が、それぞれ最も高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送サービス等）	見守り、声かけ	通いの場	サロンなどの定期的な	その他	特になし
全体	605	19.0	7.6	16.0	10.6	13.4	22.0	30.4	21.7	8.9	6.1	39.7	
単身世帯	171	25.1	11.1	25.7	16.4	21.6	22.8	29.2	29.8	12.9	4.7	35.1	
夫婦のみ世帯	173	20.8	11.0	16.8	15.6	15.0	26.0	33.5	21.4	8.7	5.2	33.5	
その他	261	13.8	3.1	9.2	3.4	6.9	18.8	29.1	16.5	6.5	7.7	46.7	

## ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれのブロックでも全体結果と同様に「特になし」が最も高く、必要だと感じる支援・サービスとしては、「移送サービス」が高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送サービス等）	見守り、声かけ	通いの場	サロンなどの定期的な	その他	特になし
全体	636	19.5	7.9	15.9	10.8	13.5	22.2	31.4	21.9	9.3	6.0	38.7	
北ブロック	197	15.2	7.1	13.2	9.6	11.7	22.8	26.9	20.3	8.1	8.6	42.1	
中ブロック	219	21.0	9.6	19.2	12.8	14.6	19.6	32.0	22.8	9.1	5.5	37.4	
南ブロック	220	21.8	6.8	15.0	10.0	14.1	24.1	35.0	22.3	10.5	4.1	36.8	

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護3』と『要介護4』では「移送サービス」が最も高くなっていますが、その他の要介護度ではいずれも全体結果と同様に「特になし」が最も高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉タクシー等（介護・移送サービス）	見守り、声かけ	通いの場	サロンなどの定期的な	その他	特になし
全体	634	19.4	7.9	15.8	10.9	13.4	22.1	31.4	21.8	9.1	6.0	38.6	
要介護1	329	22.5	7.3	16.7	11.2	15.8	23.1	28.9	21.3	10.3	6.4	37.4	
要介護2	145	14.5	10.3	16.6	10.3	13.1	21.4	30.3	22.1	7.6	2.8	43.4	
要介護3	69	15.9	4.3	15.9	13.0	10.1	23.2	39.1	26.1	10.1	5.8	33.3	
要介護4	55	18.2	10.9	10.9	9.1	9.1	20.0	40.0	21.8	7.3	10.9	38.2	
要介護5	34	20.6	5.9	11.8	5.9	5.9	17.6	32.4	14.7	2.9	8.8	41.2	

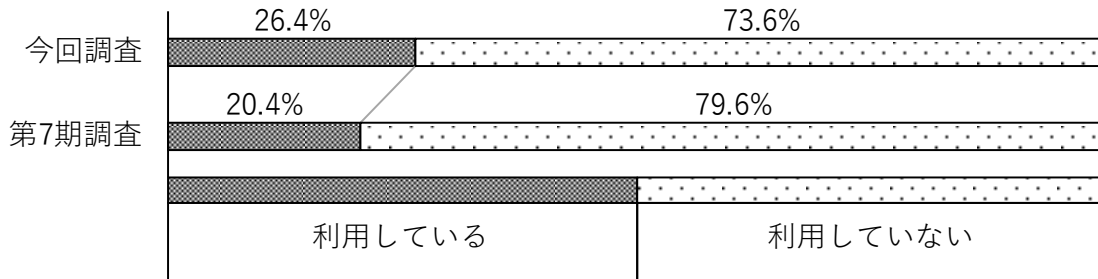
## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『Ⅲ(a+b)』と『Ⅳ及びM』では「移送サービス」と「特になし」がそれぞれ同率で高くなっていますが、その他の認知症自立度ではいずれも全体結果と同様に「特になし」が最も高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉タクシー等（介護・移送サービス）	見守り、声かけ	通いの場	サロンなどの定期的な	その他	特になし
全体	634	19.4	7.9	15.8	10.9	13.4	22.1	31.4	21.8	9.1	6.0	38.6	
自立	248	18.1	7.7	15.7	14.1	17.7	26.2	35.5	16.9	6.9	5.6	36.7	
I	134	18.7	9.7	18.7	10.4	11.2	19.4	26.9	20.9	13.4	7.5	40.3	
II (a+b)	212	22.6	7.1	14.6	8.5	11.3	19.3	27.8	27.4	9.4	5.7	39.6	
III (a+b)	29	13.8	10.3	17.2	6.9	6.9	24.1	41.4	34.5	10.3	3.4	41.4	
Ⅳ及びM	11	9.1	-	-	-	-	9.1	36.4	-	-	9.1	36.4	

(6) ご本人は、現在、医師による訪問診療を利用していますか。(○はひとつ)  
【N=739、780(第7期調査)】

訪問診療については、「利用している」は26.4%、「利用していない」は73.6%となっています。  
第7期調査と比較すると、「利用している」が6.0ポイント上昇しています。



### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「利用している」が33.7%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	704	26.0	74.0
単身世帯	205	33.7	66.3
夫婦のみ世帯	198	24.7	75.3
その他	301	21.6	78.4

### ブロック別クロス

ブロック別にみると、『北ブロック』では「利用している」が29.9%と、他のブロックに比べて高くなっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	739	26.4	73.6
北ブロック	224	29.9	70.1
中ブロック	258	25.2	74.8
南ブロック	257	24.5	75.5

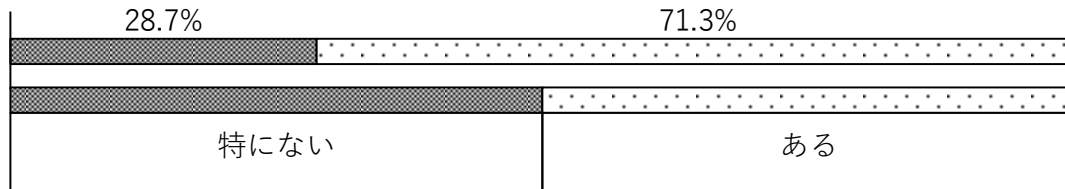
### 要介護度別クロス

要介護度別にみると、要介護度が重くなるに従い利用率も上がり、『要介護5』では63.2%に上がっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	737	26.3	73.7
要介護1	377	15.6	84.4
要介護2	172	28.5	71.5
要介護3	83	33.7	66.3
要介護4	64	53.1	46.9
要介護5	38	63.2	36.8

(7) あなたは、現在、日常生活の中で不安に思っていることがありますか。(○はひとつ) 【N=728】

現在、日常生活の中で不安に思っていることの有無については、「ある」は71.3%に上ります。一方、「特にない」は28.7%となっています。



### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『夫婦のみ世帯』では「ある」が76.8%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	特にない	ある
全体	691	28.9	71.1
単身世帯	203	29.1	70.9
夫婦のみ世帯	194	23.2	76.8
その他	294	32.7	67.3

### 要介護度別クロス

要介護度別にみると、要介護度が軽くなるに従い「ある」と回答した割合も上がり、『要介護1』では74.9%に上っています。

	合計	特にない	ある
全体	727	28.7	71.3
要介護1	378	25.1	74.9
要介護2	174	27.6	72.4
要介護3	77	31.2	68.8
要介護4	62	40.3	59.7
要介護5	33	48.5	51.5

### 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『IV及びM』では「特にない」が57.1%と高くなっていますが、その他の認知症自立度ではいずれも全体結果と同様に「ある」が高くなっています。特に、『自立』では「ある」が73.8%、『II(a+b)』では72.8%と高くなっています。

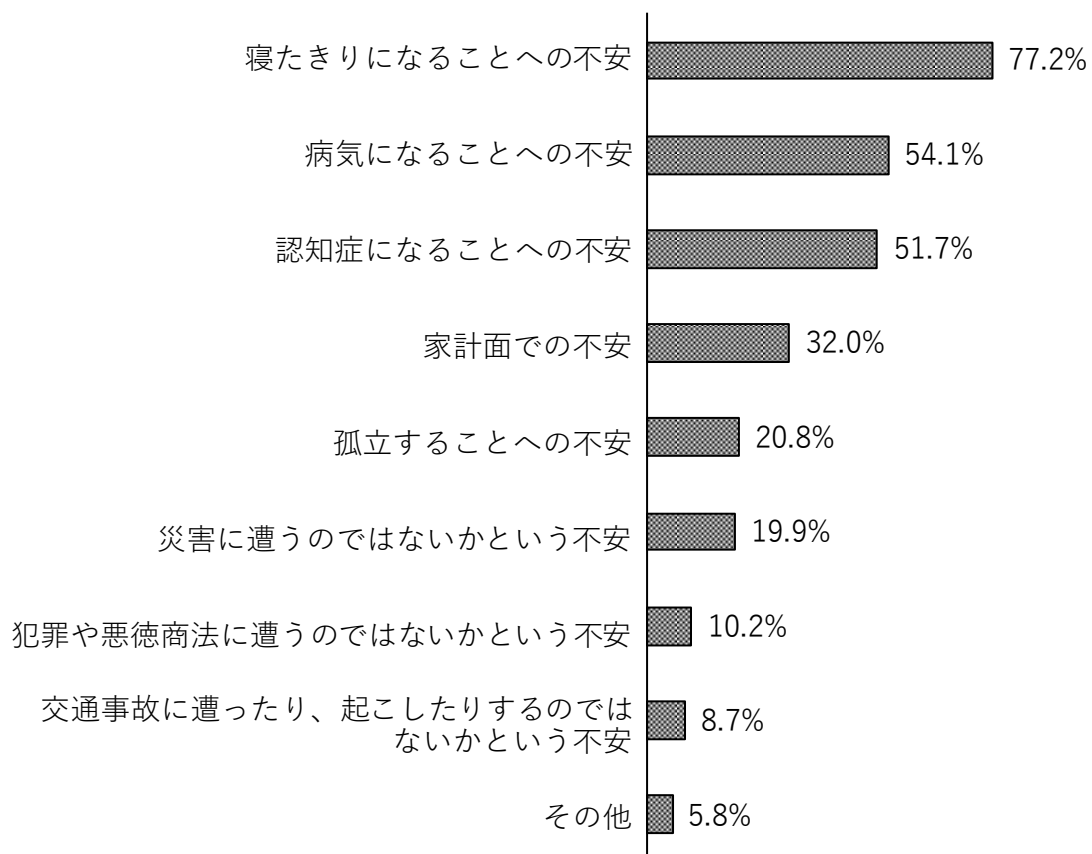
	合計	特にない	ある
全体	727	28.7	71.3
自立	290	26.2	73.8
I	163	30.7	69.3
II(a+b)	228	27.2	72.8
III(a+b)	39	43.6	56.4
IV及びM	7	57.1	42.9



【(7)で「2.ある」を選んだ人に伺います。】

(7)-① どのようなことが不安ですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=518】

どのようなことが不安なのかについては、「寝たきりになることへの不安」が77.2%で最も高く、次いで、「病気になることへの不安」(54.1%)、「認知症になることへの不安」(51.7%)と続き、身体の衰えに不安を持っている人が多いことがうかがえます。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「寝たきりになることへの不安」が最も高くなっています。また、『単身世帯』では「認知症になることへの不安」が、『夫婦のみ世帯』と『その他』では「病気になることへの不安」が、それぞれ2番目に高くなっています。一方、『夫婦のみ世帯』では「孤立することへの不安」が28.4%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	寝たきりになることへの不安	認知症になることへの不安	病気になることへの不安	孤立することへの不安	家計面での不安	災害に遭うのではないかという不安	交通事故に遭ったか、起こしたりするのではないかという不安	犯罪や悪徳商法に遭うのではないかという不安	その他
全体	490	78.0	51.8	53.3	20.6	32.0	19.8	8.0	9.6	5.7
単身世帯	144	78.5	55.6	52.8	21.5	31.9	20.1	6.9	10.4	7.6
夫婦のみ世帯	148	77.7	52.0	56.1	28.4	34.5	23.0	10.1	10.8	5.4
その他	198	77.8	49.0	51.5	14.1	30.3	17.2	7.1	8.1	4.5

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「認知症になることへの不安」が、その他の要介護度では全体結果と同様に「寝たきりになることへの不安」が、それぞれ最も高くなっています。

	合計	寝たきりになることへの不安	認知症になることへの不安	病気になることへの不安	孤立することへの不安	家計面での不安	災害に遭うのではないかと不安	交通事故に遭ったり、起こしたりするのではないかと不安	犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安	その他
全体	517	77.2	51.6	54.0	20.7	31.9	19.9	8.7	10.1	5.8
要介護1	282	77.7	52.5	55.7	19.5	30.1	19.1	8.9	10.3	4.6
要介護2	126	77.8	45.2	48.4	19.8	34.1	16.7	7.9	8.7	5.6
要介護3	53	79.2	52.8	54.7	24.5	28.3	28.3	7.5	13.2	9.4
要介護4	37	75.7	56.8	64.9	32.4	40.5	21.6	8.1	10.8	10.8
要介護5	17	58.8	64.7	35.3	5.9	41.2	23.5	11.8	-	5.9

## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『IV及びM』では「家計面での不安」が、その他の認知症自立度では全体結果と同様に「寝たきりになることへの不安」が、それぞれ最も高くなっています。

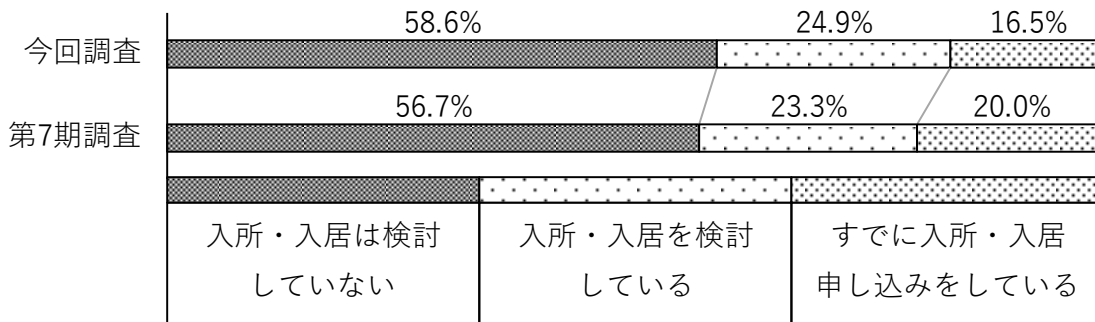
	合計	寝たきりになることへの不安	認知症になることへの不安	病気になることへの不安	孤立することへの不安	家計面での不安	災害に遭うのではないかという不安	交通事故に遭ったり、起こしたりするのではないかという不安	犯罪や悪徳商法に遭うのではないかという不安	その他
全体	517	77.2	51.6	54.0	20.7	31.9	19.9	8.7	10.1	5.8
自立	214	80.4	50.5	54.2	23.4	29.0	24.3	8.9	8.9	4.7
I	112	77.7	59.8	56.3	21.4	28.6	19.6	7.1	9.8	2.7
II (a+b)	166	73.5	50.6	54.2	18.7	34.3	16.9	10.2	12.0	9.6
III (a+b)	22	81.8	36.4	45.5	9.1	54.5	-	4.5	4.5	-
IV及びM	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	33.3	33.3

## 問2 今後の介護について

(1) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○はひとつ) 【N=690、739(第7期調査)】

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が58.6%を占め、「入所・入居を検討している」は24.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が16.5%となっています。

第7期調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」1.9ポイント、「入所・入居を検討している」1.6ポイント、それぞれ上昇しています。



### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「すでに入所・入居申し込みをしている」が29.3%と、他の世帯類型に比べて特になくなっています。

	合計	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている
全体	655	58.2	25.2	16.6
単身世帯	191	45.0	25.7	29.3
夫婦のみ世帯	186	64.0	24.7	11.3
その他	278	63.3	25.2	11.5

### 利用状況別クロス

利用状況別にみると、「入所・入居を検討している」は『利用した』が『利用していない』を5.1ポイント上回っています。

	合計	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている
全体	667	59.1	24.3	16.6
利用した	562	58.0	25.1	16.9
利用していない	105	64.8	20.0	15.2

**ブロック別クロス**

ブロック別にみると、『南ブロック』では「入所・入居を検討している」(26.8%)と「すでに入所・入居申し込みをしている」(18.3%)が、他のブロックに比べて高くなっています。

	合計	て入所・入居は検討しない	て入所・入居を検討している	しすで入所・入居申し込みをしている
全体	690	58.6	24.9	16.5
北ブロック	215	58.1	26.0	15.8
中ブロック	240	62.5	22.1	15.4
南ブロック	235	54.9	26.8	18.3

**要介護度別クロス**

要介護度別にみると、『要介護3』では「入所・入居を検討している」(26.9%)が、『要介護5』では「すでに入所・入居申し込みをしている」(37.5%)が、それぞれ他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	て入所・入居は検討しない	て入所・入居を検討している	しすで入所・入居申し込みをしている
全体	688	58.7	25.0	16.3
要介護1	350	62.6	26.3	11.1
要介護2	162	59.3	25.9	14.8
要介護3	78	48.7	26.9	24.4
要介護4	55	50.9	23.6	25.5
要介護5	40	52.5	10.0	37.5

**主な介護者別クロス**

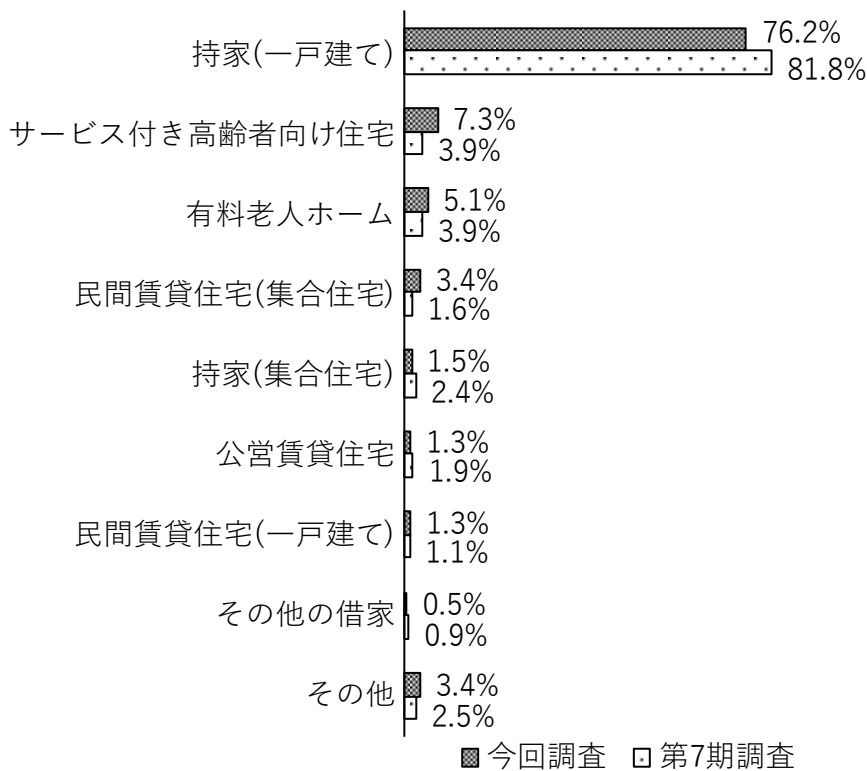
主な介護者別にみると、『子の配偶者』と『その他』では「入所・入居を検討している」(41.3%、52.9%)が最も高くなっています。また、『孫』では「すでに入所・入居申し込みをしている」が100%となっています。

	合計	て入所・入居は検討しない	て入所・入居を検討している	しすで入所・入居申し込みをしている
全体	540	59.3	26.5	14.3
配偶者	172	71.5	20.9	7.6
子	279	58.1	25.1	16.8
子の配偶者	63	39.7	41.3	19.0
孫	1	-	-	100.0
兄弟・姉妹	8	62.5	25.0	12.5
その他	17	29.4	52.9	17.6

(2) 現在のお住まいは次のどれですか。(○はひとつ) 【N=744、795(第7期調査)】

現在の住まいについては、「持家(一戸建て)」が76.2%と突出して高く、「サービス付き高齢者向け住宅」(7.3%)や「有料老人ホーム」(5.1%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(3.4%)などはいずれも僅かとなっています。

第7期調査と比較すると、「持家(一戸建て)」が5.6ポイント低下する一方、「サービス付き高齢者向け住宅」が3.4ポイント上昇しています。



(3) ご本人は、今後、どのように介護してほしいとお考えですか。(○はひとつ)

【N=677、724(第7期調査)】

今後のどのように介護してほしいかについては、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が48.9%で最も高く、次いで、「わからない」(17.0%)、「見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい」(12.4%)が続いています。一方、「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」は10.6%となっています。

第7期調査と比較すると、「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」が2.9ポイント、「見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい」が2.7ポイント、それぞれ上昇しています。一方、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」は2.2ポイント、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」は1.9ポイント、それぞれ低下しています。

	10.6%	48.9%	12.4%	11.1%	17.0%
今回調査					
第7期調査	7.7%	51.1%	9.7%	13.0%	18.5%
介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい	ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい	見守りや食事サービスを受けられる住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅)で生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい	わからない	



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『単身世帯』では「見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい」が21.2%、『夫婦のみ世帯』では「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」が16.4%と、それぞれ他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい	見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい	ホームヘルプやデイサービスを受けたい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい	わからない
全体	642	10.3	48.6	12.5	11.5	17.1
単身世帯	184	5.4	43.5	21.2	13.6	16.3
夫婦のみ世帯	183	16.4	49.2	10.4	9.8	14.2
その他	275	9.5	51.6	8.0	11.3	19.6

ブロック別クロス
----------

ブロック別にみると、いずれのブロックでも全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『北ブロック』では「見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい」が14.2%、『中ブロック』では「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が14.3%あり、それぞれ他のブロックに比べて高くなっています。

	合計	介護保険制度を利用せず、家族に介 護してもらいたい	ホームヘルプやデイサービスを受けて、在宅で生活 したい	高齢者向け住宅（ホームやサービス付 き住宅）で生活したい	見守りや食事サービスを受けられる 住宅（有料老人ホームやサービス付 き住宅）で生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設 などの施設に入所したい	わからない
全体	677	10.6	48.9	12.4	11.1	17.0	
北ブロック	211	11.8	49.8	14.2	5.7	18.5	
中ブロック	237	9.3	49.4	10.5	14.3	16.5	
南ブロック	229	10.9	47.6	12.7	12.7	16.2	

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『要介護度4』では「見守りや食事サービスを受けられる自宅で生活したい」が18.2%、『要介護5』では「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が16.2%あり、それぞれ他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	介護保険制度を利用せず、家族に介 護してもらいたい	在宅サービスを受けて、在宅で生活 したい	ホームヘルプやデイサービスなどの 在宅サービスを受けたい	見守りや食事サービスを受けられる 住宅（有料老人ホームやサービス付 き高齢者向け住宅）で生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設 などの施設に入所したい	わからない
全体	677	10.6	48.9	12.4	11.1	17.0	
要介護1	344	12.2	51.7	12.5	9.6	14.0	
要介護2	164	10.4	47.6	11.0	12.8	18.3	
要介護3	74	8.1	44.6	13.5	12.2	21.6	
要介護4	55	10.9	43.6	18.2	10.9	16.4	
要介護5	37	2.7	40.5	8.1	16.2	32.4	

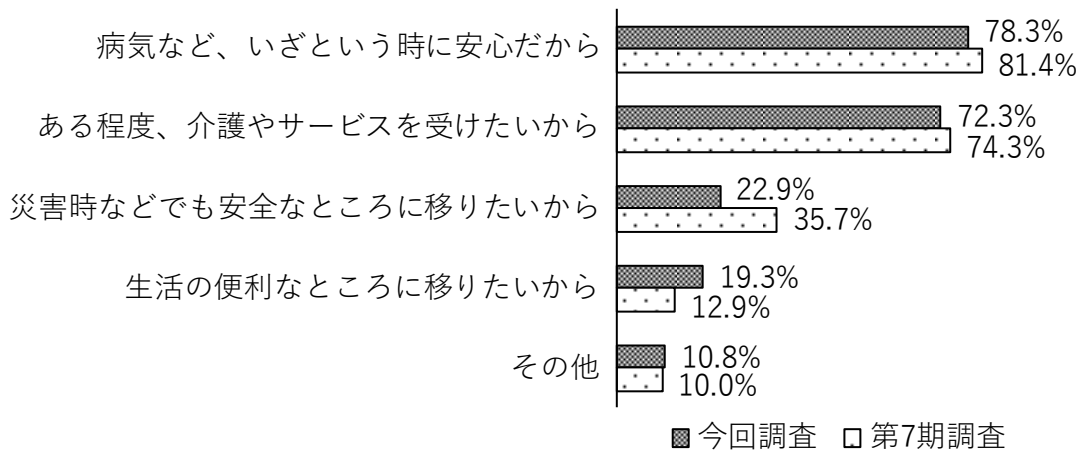
【(3)で「3.見守りや食事サービスを受けられる住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅)で生活したい」を選んだ人に伺います。】

(3)-① その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

【N=83、70(第7期調査)】

見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい理由については、「病気など、いざという時に安心だから」が78.3%で最も高く、次いで、「ある程度、介護やサービスを受けたいから」が72.3%で続いています。

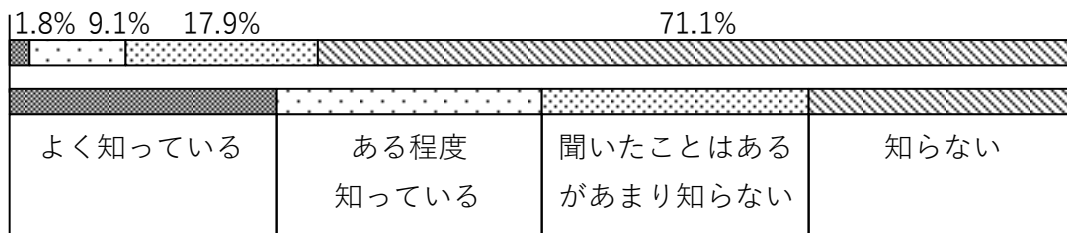
第7期調査と比較すると、「災害時などでも安全なところに移りたいから」が12.8ポイント低下する一方、「生活の便利なところに移りたいから」が6.4ポイント上昇しています。



(4) もしものときのために、ご本人が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」といいます。

あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」のことを知っていますか。(○はひとつ) 【N=714】

「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の認知状況については、『知っている』(「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計)は10.9%、『知らない』(「聞いたことはあるがあまり知らない」と「知らない」の合計)は89.0%と、認知度は低くなっています。



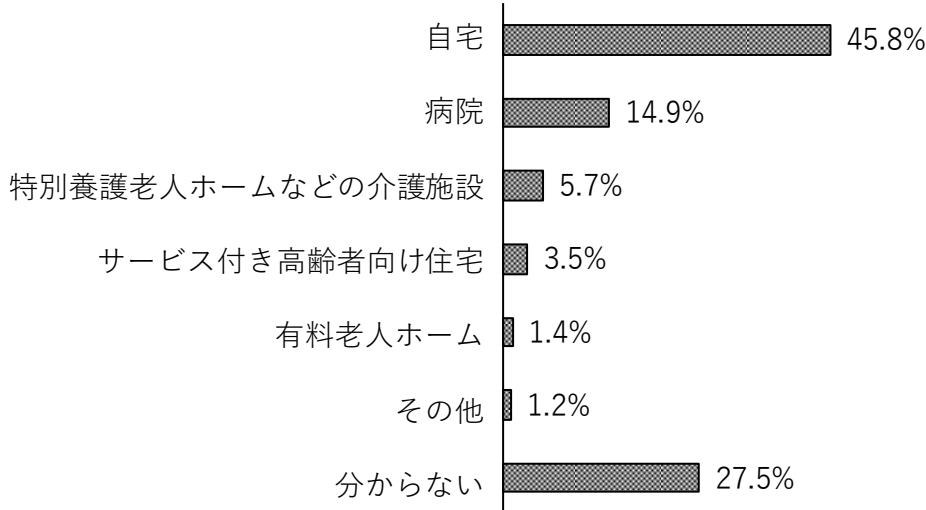
### 性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『64歳以下男』では『知っている』が20.0%と、他の性・年齢に比べて高くなっています

		合計	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない
64歳以下	全	15	-	13.3	33.3	53.3
	男	5	-	20.0	40.0	40.0
	女	10	-	10.0	30.0	60.0
65～74歳	全	86	2.3	8.1	18.6	70.9
	男	43	2.3	9.3	18.6	69.8
	女	43	2.3	7.0	18.6	72.1
75～84歳	全	247	1.6	9.7	17.4	71.3
	男	117	1.7	10.3	17.1	70.9
	女	130	1.5	9.2	17.7	71.5
85歳以上	全	366	1.9	8.7	17.5	71.9
	男	90	1.1	8.9	18.9	71.1
	女	276	2.2	8.7	17.0	72.1

(5) 人生の最期を迎えるとき、あなたはどこでの看取りを希望しますか。(○はひとつ) 【N=723】

人生の最後を迎えるときに希望する看取りの場所については、「自宅」が45.8%で最も高く、次いで、「分からない」(27.5%)、「病院」(14.9%)が続いています。



#### 性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『64歳以下女』では「分からない」が最も高くなっていますが、その他の性・年齢では全体結果と同様に「自宅」が最も高くなっています。

		合計	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	病院	その他	分からない
64歳以下	全	15	40.0	6.7	-	-	13.3	6.7	33.3
	男	5	60.0	-	-	-	20.0	-	20.0
	女	10	30.0	10.0	-	-	10.0	10.0	40.0
65～74歳	全	88	46.6	5.7	1.1	2.3	14.8	1.1	28.4
	男	43	51.2	7.0	-	2.3	9.3	-	30.2
	女	45	42.2	4.4	2.2	2.2	20.0	2.2	26.7
75～84歳	全	248	42.7	6.9	2.0	1.6	17.3	0.8	28.6
	男	118	47.5	5.9	0.8	1.7	16.9	-	27.1
	女	130	38.5	7.7	3.1	1.5	17.7	1.5	30.0
85歳以上	全	372	47.8	4.8	1.1	5.1	13.4	1.3	26.3
	男	93	57.0	4.3	1.1	4.3	16.1	1.1	16.1
	女	279	44.8	5.0	1.1	5.4	12.5	1.4	29.7

## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「自宅」が最も高く、次いで、「分からない」、「病院」が続いています。

	合計	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	病院	その他	分からない
全体	685	45.5	6.0	1.5	3.5	13.9	1.3	28.3
単身世帯	197	37.6	5.6	1.5	7.6	14.7	1.0	32.0
夫婦のみ世帯	197	53.3	6.6	1.5	1.5	12.7	1.5	22.8
その他	291	45.7	5.8	1.4	2.1	14.1	1.4	29.6

### 問3 介護保険制度やサービスについて

- (1) 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり上昇することが予測されています。介護サービスと介護保険料とのバランスについてどう思いますか。(○はひとつ)

【N=744、689(第7期調査)】

介護サービスと介護保険料とのバランスについては、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が53.6%で最も高く、次いで、「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が28.0%で続いています。

第7期調査と比較すると、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が5.3ポイント低下する一方、「わからない」が4.7ポイント上昇しています。

	4.2%	28.0%	53.6%	2.8%	11.4%
今回調査					
第7期調査	3.6%	27.0%	58.9%	3.8%	6.7%
	介護保険料が上がっても良いので、介護サービスは大いに充実すべきだ	介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない	介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ	介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきでない	わからない



## 利用状況別クロス

利用状況別にみると、いずれの利用状況でも全体結果と同様に「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が最も高くなっています。次いで、『利用した』では「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が、『利用していない』では「わからない」が続いています。

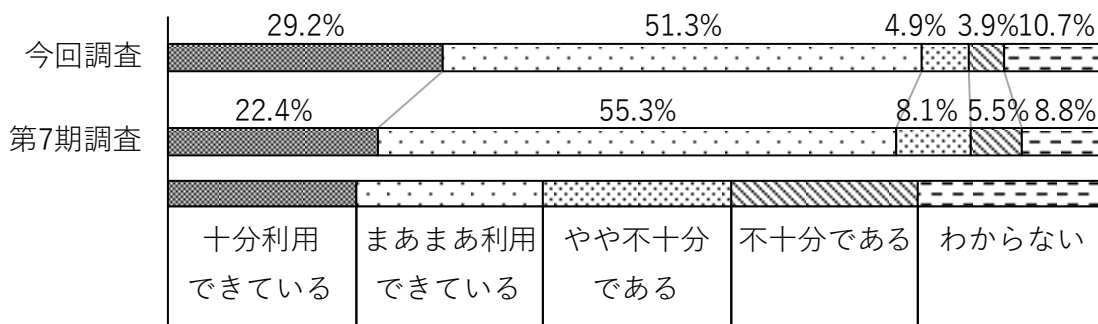
	合計	介護サービスは大きくも充実すべきだ	介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない	介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ	介護サービスは低下しても構わないので、介護保険料は上げべきでない	わからない
全体	715	4.1	28.3	53.6	2.8	11.3
利用した	601	4.0	30.1	53.6	2.8	9.5
利用していない	114	4.4	18.4	53.5	2.6	21.1

## (2) 介護保険サービスは十分利用できていますか。(○はひとつ)

【N=750、693(第7期調査)】

介護保険サービスの利用状況については、「十分利用できている」は29.2%、「まあまあ利用できている」は51.3%と、合わせて80.5%が『利用できている』と回答しています。一方、「やや不十分である」(4.9%)と「不十分である」(3.9%)を合わせると、8.8%が『不十分である』と回答しています。

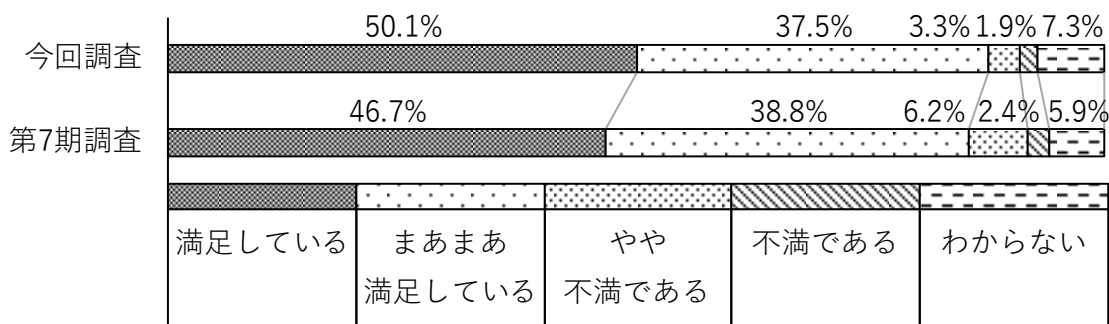
第7期調査と比較すると、『利用できている』が2.8ポイント上昇し、『不十分である』が4.8ポイント低下しています。



## (3) ケアマネジャーによるケアマネジメント(介護サービス計画)については満足されていますか。(○はひとつ) 【N=753、698(第7期調査)】

ケアマネジメントの満足度については、「満足している」(50.1%)と「まあまあ満足している」(37.5%)を合わせると87.6%が『満足』だと感じています。一方、「不満である」(1.9%)と「やや不満である」(3.3%)を合わせると、5.2%が『不満』だと感じています。

第7期調査と比較すると、『満足』が2.1ポイント上昇し、『不満』が3.4ポイント低下しています。



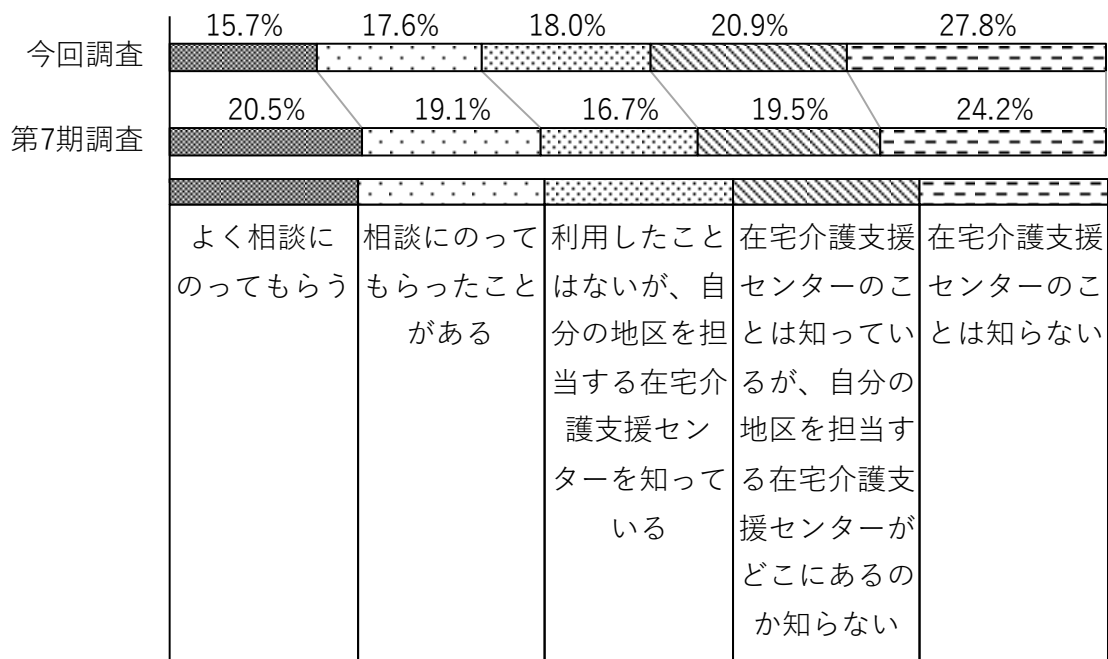
## 問 4 相談などについて

(1) 在宅介護支援センターを知っていますか。(○はひとつ)

【N=699、640(第7期調査)】

在宅介護支援センターの認知状況については、「よく相談にのってもらおう」、「相談にのってもらったことがある」、「利用したことはないが、自分の地区を担当する在宅支援センターを知っている」が合わせて51.3%に上っていますが、一方で、「在宅介護支援センターのことは知らない」、「在宅支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅支援センターがどこにあるのか知らない」は合わせて48.7%に上っています。

第7期調査と比較すると、「在宅介護支援センターのことは知らない」が3.6ポイント上昇する一方、「よく相談にのってもらおう」は4.8ポイント低下しており、認知がまだ十分進んでいないと言えます。



## 日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、「よく相談にのってもらおう」、「相談にのってもらったことがある」、「利用したことはないが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」を合わせると、『橋北』では78.5%、『水沢』でも70.0%と認知度は高くなっています。一方で、「在宅介護支援センターのことは知らない」、「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」を合わせると、『川原田』では85.8%と高く、『内部』と『中部』でもそれぞれ67.7%、66.7%に上るなど、認知度が低いと言えます。

	合計	よく相談にのってもらおう	相談にのってもらったことがある	利用したことはないが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている	在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない	在宅介護支援センターのことは知らない
全 体	699	15.7	17.6	18.0	20.9	27.8
中 部	42	9.5	16.7	7.1	28.6	38.1
富洲原	22	18.2	18.2	18.2	22.7	22.7
富 田	23	17.4	13.0	30.4	13.0	26.1
羽 津	37	21.6	13.5	5.4	24.3	35.1
常 磐	58	10.3	24.1	24.1	17.2	24.1
日 永	37	16.2	21.6	21.6	13.5	27.0
四 郷	65	15.4	18.5	20.0	29.2	16.9
内 部	34	2.9	14.7	14.7	20.6	47.1
塩 浜	17	23.5	-	29.4	17.6	29.4
小山田	-	-	-	-	-	-
川 島	39	12.8	43.6	10.3	15.4	17.9
神 前	-	-	-	-	-	-
桜	55	12.7	16.4	12.7	32.7	25.5
三 重	66	18.2	10.6	13.6	25.8	31.8
県	23	26.1	13.0	21.7	21.7	17.4
八 郷	24	33.3	20.8	4.2	29.2	12.5
下 野	28	14.3	14.3	32.1	10.7	28.6
大矢知	38	15.8	10.5	18.4	15.8	39.5
河原田	7	-	14.3	-	42.9	42.9
水 沢	10	30.0	10.0	30.0	-	30.0
保 々	16	6.3	18.8	31.3	18.8	25.0
海 蔵	25	16.0	20.0	28.0	8.0	28.0
橋 北	14	7.1	21.4	50.0	-	21.4
楠	19	31.6	15.8	5.3	15.8	31.6

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、「よく相談にのってもらおう」、「相談にのってもらったことがある」、「利用したことはないが、自分の地区を担当するセンターを知っている」を合わせると、『要介護2』以上では50%を超えており、特に『要介護5』では60.0%に上ります。一方で、「在宅介護支援センターのことは知らない」、「在宅支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない」を合わせると、『要介護1』では52.3%に上ります。

	合計	よく相談にのってもらおう	相談にのってもらったことがある	利用したことはないが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている	センターが自分の地区を担当する在宅介護支援センターのことは知らない	在宅介護支援センターのことは知らない
全体	697	15.8	17.6	18.1	20.8	27.7
要介護1	354	15.0	16.9	15.8	21.2	31.1
要介護2	166	17.5	19.9	18.7	18.7	25.3
要介護3	77	14.3	19.5	19.5	23.4	23.4
要介護4	57	12.3	15.8	26.3	17.5	28.1
要介護5	40	25.0	12.5	22.5	25.0	15.0

## (2) 地域包括支援センターを知っていますか。(○はひとつ)

【N=683、623(第7期調査)】

地域包括支援センターについては、「よく相談にのってもらったこと  
がある」、「相談にのってもらったこと  
がある」、「利用したことはないが、自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」  
が合わせて48.9%となっています。一方、「地域包括支援センターのことは知らない」、「地域包括  
支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにある  
のか知らない」は合わせて51.1%となっています。

第7期調査と比較すると、「地域包括支援センターのことは知らない」が1.3ポイント、「地域包  
括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあ  
るのか知らない」が1.0ポイント上昇しています。

今回調査	7.5%	22.1%	19.3%	19.8%	31.3%
第7期調査	8.5%	22.5%	20.2%	18.8%	30.0%
	よく相談に のってもら う	相談にのっ てもらっ たこと がある	利用したこ とはない が、自 分の地区 を担当 する地域 包括支 援セン ターを 知って いる	地域包括 支援セン ターのこ とは知 っている が、自 分の 地区を 担当 する 地域 包括 支 援 セン ター が ど こ に あ る の か 知 ら な い	地域包括 支援セン ターのこ とは知 らな い

## ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれのブロックでも「地域包括支援センターのことは知らない」が最も高くなっています。一方、「よく相談にのってもらう」、「相談にのってもらったことがある」、「利用したことはないが、自分の地区を担当するセンターを知っている」を合わせると、『北ブロック』は53.6%、『中ブロック』は49.3%、『南ブロック』は44.5%となっており、『北ブロック』で認知度が高く、『南ブロック』で低くなっています。

	合計	よく相談にのってもらう	相談にのってもらったことがある	利用したことはないが、自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている	センターがどの地区を担当する地域包括支援センターがどの地区を担当する地域包括支援センターのことは知らない	地域包括支援センターのことは知らない
全体	683	7.5	22.1	19.3	19.8	31.3
北ブロック	209	11.5	24.9	17.2	16.3	30.1
中ブロック	231	4.3	25.5	19.5	23.8	26.8
南ブロック	243	7.0	16.5	21.0	18.9	36.6

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、「よく相談にのってもらおう」、「相談にのってもらったことがある」、「利用したことはないが、自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」を合わせると、『要介護4』と『要介護5』で50%を超えており、特に『要介護5』では59.0%に上ります。一方で、「地域包括支援センターのことは知らない」、「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのか知らない」を合わせると、『要介護1』『要介護2』『要介護3』では50%を超えています。

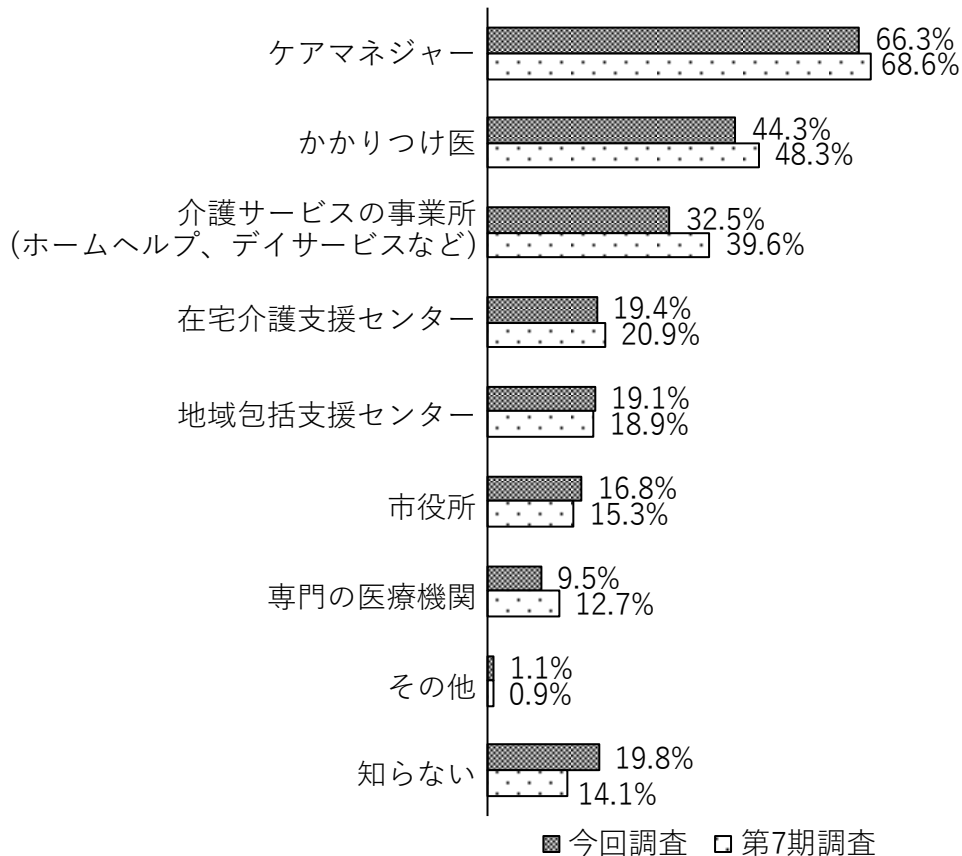
	合計	よく相談にのってもらおう	相談にのってもらったことがある	利用したことはないが、自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている	センターがどこにあるのか知らない	地域包括支援センターのことは知らない
全体	681	7.5	22.2	19.4	19.7	31.3
要介護1	347	9.2	21.9	17.6	17.9	33.4
要介護2	162	7.4	21.6	18.5	17.3	35.2
要介護3	74	2.7	25.7	18.9	27.0	25.7
要介護4	56	3.6	21.4	26.8	19.6	28.6
要介護5	39	7.7	20.5	30.8	30.8	10.3



(3) 訪問診療や看取りのことなど、在宅医療に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=727、679(第7期調査)】

在宅医療に関する相談窓口については、「ケアマネジャー」が66.3%で最も高く、次いで、「かかりつけ医」(44.3%)、「介護サービスの事業所(ホームヘルプ、デイサービスなど)」(32.5%)が続いています。一方、「知らない」は19.8%となっています。

第7期調査と比較すると、「知らない」が5.7ポイント上昇する一方、「介護サービスの事業所」は7.1ポイント、「かかりつけ医」は4.0ポイント、それぞれ低下しています。



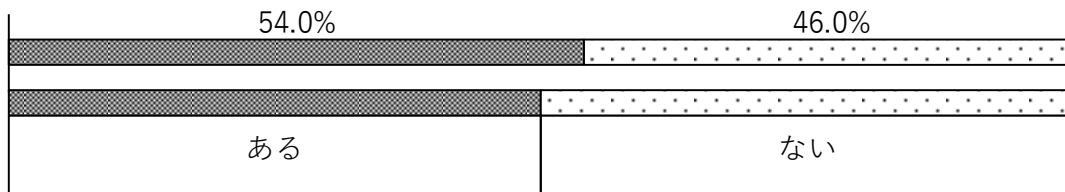
### ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれのブロックでも全体結果と同様に、「ケアマネジャー」が最も高く、「かかりつけ医」、「介護サービスの事業所」が続いています。一方、『北ブロック』では「在宅介護支援センター」が22.6%、「地域包括支援センター」が26.2%と、他のブロックに比べて認知度が高くなっています。

	合計	かかりつけ医	専門の医療機関	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	市役所	ケアマネジャー	介護サービスの事業所 (ホームヘルプ、デイサービスなど)	その他	知らない
全体	727	44.3	9.5	19.4	19.1	16.8	66.3	32.5	1.1	19.8
北ブロック	221	47.1	10.4	22.6	26.2	19.0	66.5	36.7	1.8	18.6
中ブロック	254	42.5	4.7	18.1	15.4	13.8	68.9	35.0	1.6	18.5
南ブロック	252	43.7	13.5	17.9	16.7	17.9	63.5	26.2	-	22.2

(4) ご本人(封筒のあて名の方)は、過去3年ぐらいの間に、病院に入院した経験がありましたか。(○はひとつ) 【N=742】

過去3年間に病院に入院した経験については、「ある」が54.0%、「ない」が46.0%となっています。



#### 要介護度別クロス

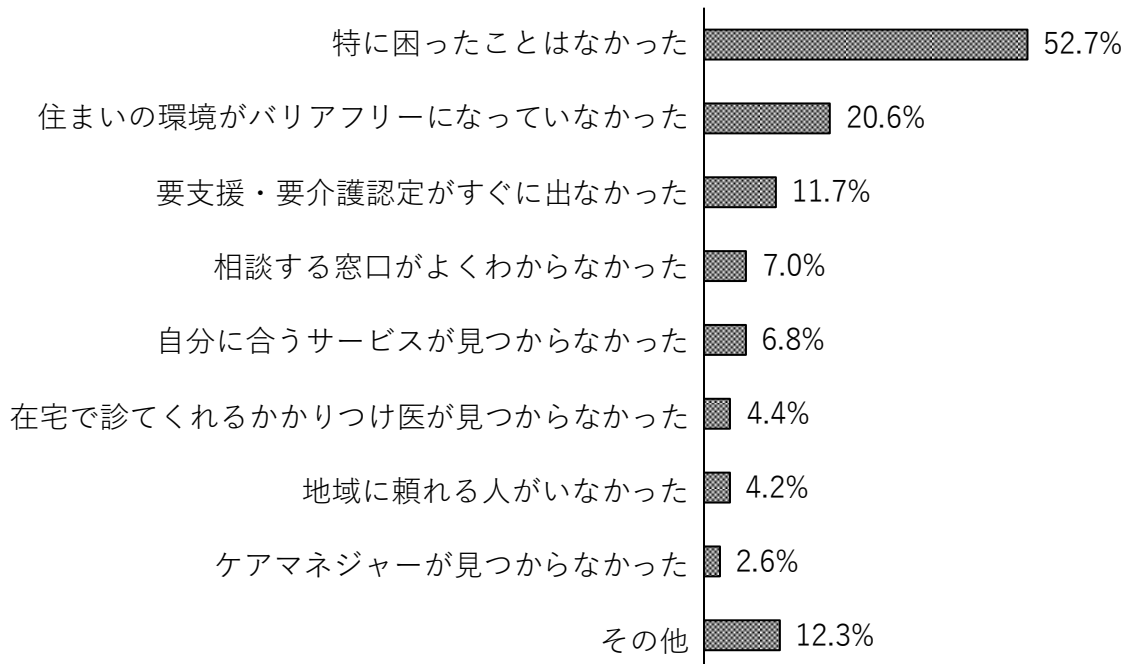
要介護度別にみると、『要介護5』では「ある」が65.1%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	ある	ない
全体	740	54.1	45.9
要介護1	379	51.7	48.3
要介護2	170	56.5	43.5
要介護3	81	53.1	46.9
要介護4	64	53.1	46.9
要介護5	43	65.1	34.9

## 【(4)で「1.ある」を選んだ人に伺います。】

(4)-① 退院して自宅に戻る時にどんなことが困りましたか。(当てはまるものすべてに○) 【N=383】

退院して自宅に戻る時に困ったことについては、「特に困ったことはなかった」が52.7%で最も高くなっています。困ったこととしては、「住まいの環境がバリアフリーになっていなかった」(20.6%)、「要支援・要介護認定がすぐに出なかった」(11.7%)、「相談する窓口がよくわからなかった」(7.0%)などが挙がっています。



## 要介護度別クロス

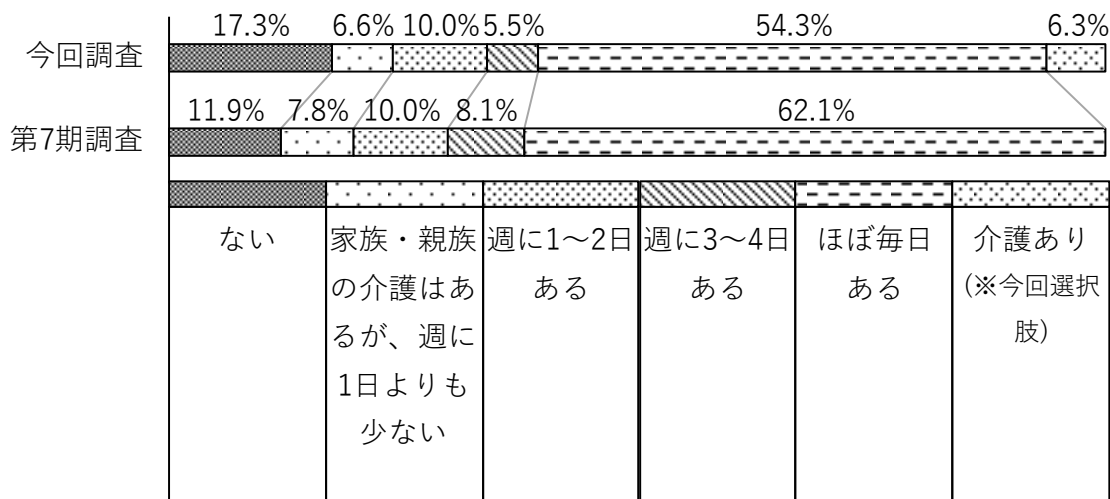
要介護度別にみると、困ったこととしては、『要介護3』では「要支援・要介護認定がすぐに出なかった」と「住まいの環境がバリアフリーになっていなかった」が同率で高く、その他の要介護度では全体結果と同様に「住まいの環境がバリアフリーになっていなかった」が高くなっています。

	合計	特に困ったことは	つかかりで診てくれる	在宅で診てくれる	見つからなかつた	ケアマネジャーが見つからなかった	要支援・要介護認定がすぐに出なかった	自分が合ったサービス	自分に合ったサービス	住まいの環境が	いかに頼れる人が	地域に頼れる人が	相談する窓口が	その他
全体	382	52.9	4.5	2.6	11.8	6.8	20.7	4.2	7.1	12.0				
要介護1	192	54.2	3.1	2.1	12.0	5.2	19.8	4.7	5.7	12.5				
要介護2	87	54.0	8.0	3.4	11.5	11.5	18.4	3.4	6.9	9.2				
要介護3	40	45.0	-	7.5	20.0	10.0	20.0	7.5	12.5	15.0				
要介護4	33	51.5	6.1	-	9.1	3.0	27.3	-	15.2	9.1				
要介護5	27	55.6	7.4	-	3.7	3.7	22.2	-	-	18.5				

## 問5 ご家族などからの介護について

(1) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○はひとつ) 【N=759、663(第7期調査)】

家族や親族からの介護については、「ほぼ毎日ある」が54.3%を占めています。また、「週に1～2日ある」は10.0%、「週に3～4日ある」は5.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」は6.6%となっています。一方、「ない」は17.3%となっています。



### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『その他』では「ほぼ毎日ある」が65.5%と高くなっています。一方、『単身世帯』は「ない」が22.5%、「週に1～2日ある」が17.6%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	ない	日よは家は家族・親族の介護 りあるが、週に1 りも少ないに 少ないに介護	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	介護あり
全体	713	17.3	6.7	10.1	5.6	54.6	5.8
単身世帯	204	22.5	7.8	17.6	10.3	35.8	5.9
夫婦のみ世帯	202	17.3	7.9	8.9	3.0	56.9	5.9
その他	307	13.7	5.2	5.9	4.2	65.5	5.5

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも全体結果と同様に「ほぼ毎日ある」が最も高くなっています。一方、『要介護5』では「ない」が29.5%あり、要介護度が重いにもかかわらず高くなっています。

	合計	ない	日 は 家 族 ・ 親 族 の 介 護 に よ り も 少 な い	週 に 1 ～ 2 日 あ る	週 に 3 ～ 4 日 あ る	ほ ぼ 毎 日 あ る	介 護 あ り
全体	757	17.2	6.6	10.0	5.5	54.4	6.2
要介護1	383	16.4	7.8	10.4	5.2	53.8	6.3
要介護2	176	18.8	4.0	9.1	6.3	58.0	4.0
要介護3	86	12.8	7.0	12.8	3.5	51.2	12.8
要介護4	65	15.4	6.2	6.2	10.8	58.5	3.1
要介護5	44	29.5	6.8	9.1	2.3	47.7	4.5

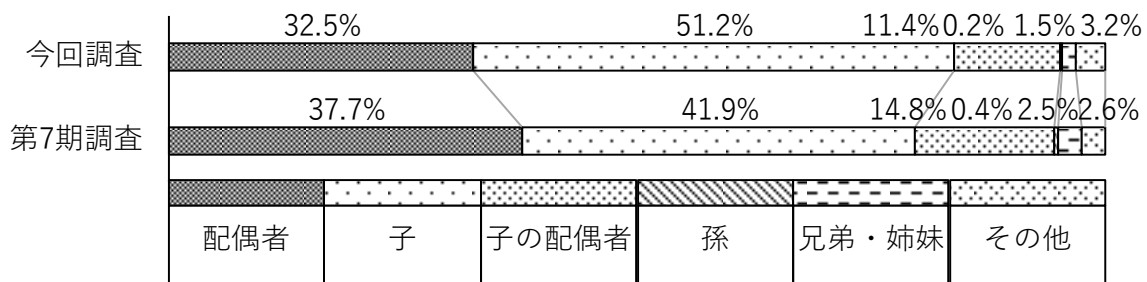
→問6以降は、主な介護者の方がお答えください。

## 問6 主な介護者の方について【介護者への質問】

(1) 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からみた続柄でお答えください。(○はひとつ) 【N=594、687(第7期調査)】

主な介護者については、「子」が51.2%で最も高く、次いで、「配偶者」(32.5%)、「子の配偶者」(11.4%)と続いています。

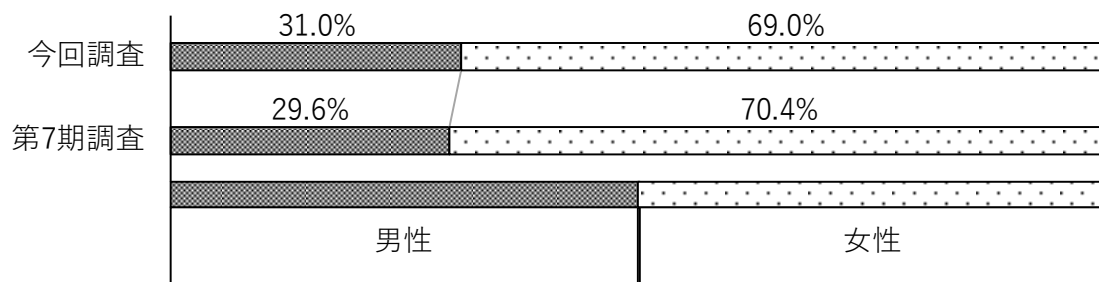
第7期調査と比較すると、「子」が9.3ポイント上昇する一方、「配偶者」が5.2ポイント低下しています。



(2) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○はひとつ) 【N=600、705(第7期調査)】

主な介護者の性別は「女性」が69.0%、「男性」が31.0%と、『女性』が『男性』の約2倍となっています。

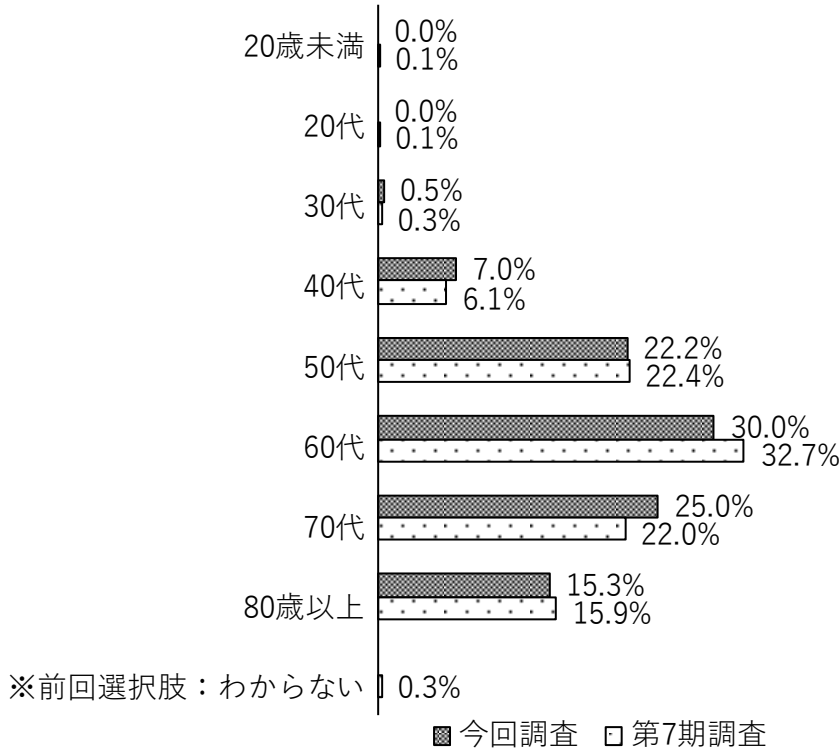
第7期調査と比較すると、『男性』が1.4ポイント上昇しています。



(3) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

【N=603、704(第7期調査)】

主な介護者の年齢については、「60代」が30.0%を占め、以下、「70代」(25.0%)、「50代」(22.2%)、「80歳以上」(15.3%)と続いています。60歳以上の介護者が70.5%を占めています。



### 性・年齢別クロス

性・年齢別で見ると、『75～84歳男』では「70代」が、『85歳以上男』は「80歳以上」が、それぞれ最も高くなっており、高齢者が高齢者を介護している様子がうかがえます。

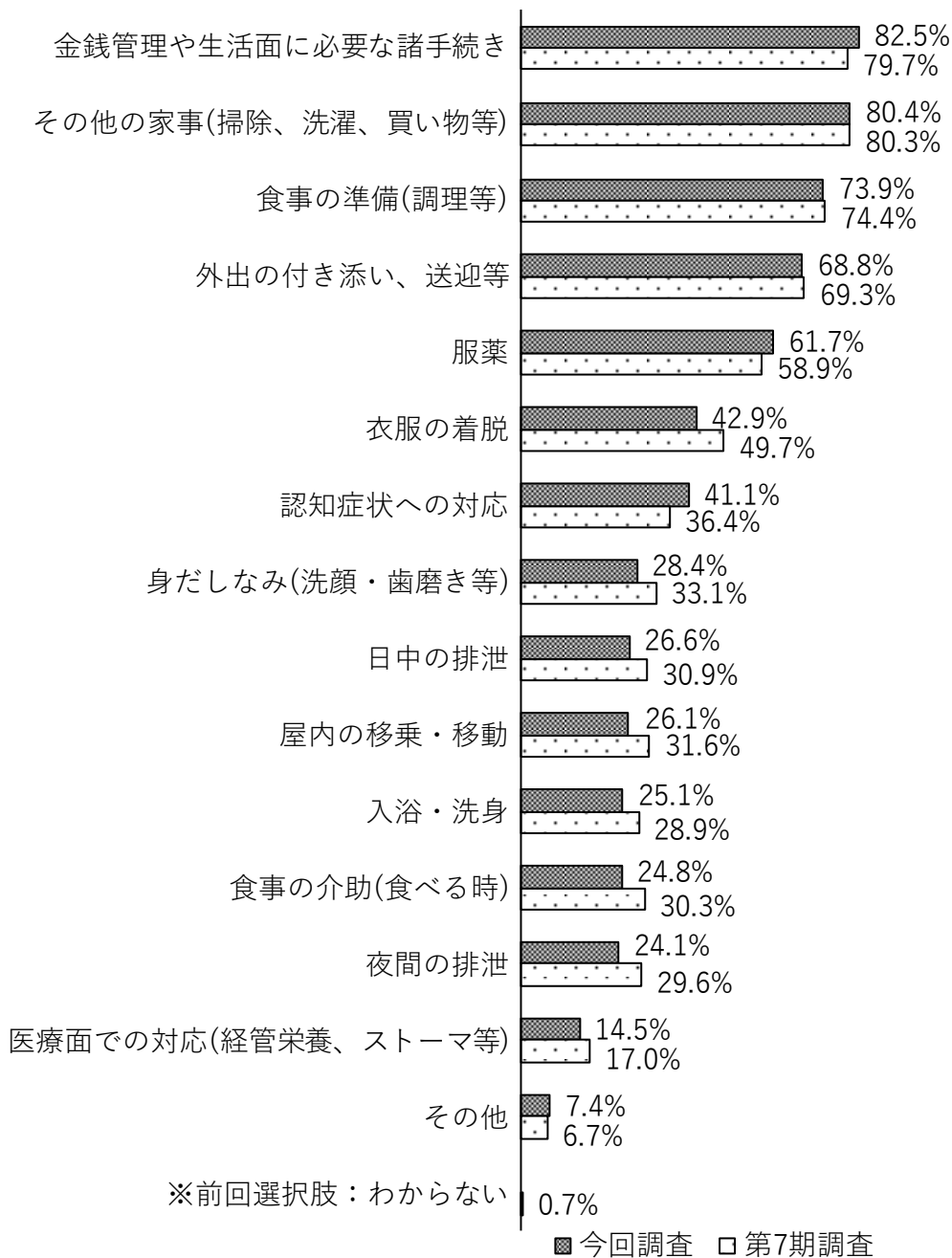
		合計	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
64歳以下	全	10	-	-	-	10.0	20.0	60.0	-	10.0
	男	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
	女	7	-	-	-	14.3	-	71.4	-	14.3
65～74歳	全	73	-	-	4.1	17.8	4.1	20.5	52.1	1.4
	男	34	-	-	5.9	5.9	8.8	35.3	44.1	-
	女	39	-	-	2.6	28.2	-	7.7	59.0	2.6
75～84歳	全	198	-	-	-	11.6	29.3	7.6	30.8	20.7
	男	96	-	-	-	10.4	10.4	5.2	52.1	21.9
	女	102	-	-	-	12.7	47.1	9.8	10.8	19.6
85歳以上	全	322	-	-	-	1.6	22.0	45.0	16.1	15.2
	男	75	-	-	-	1.3	28.0	20.0	5.3	45.3
	女	247	-	-	-	1.6	20.2	52.6	19.4	6.1



(4) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(当てはまるものすべてに○) 【N=606、706(第7期調査)】

主な介護者が行っている介護等については、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.5%で最も高く、次いで、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(80.4%)、「食事の準備(調理等)」(73.9%)と続き、上位3位は生活援助が占めています。以下、「外出の付き添い、送迎等」(68.8%)、「服薬」(61.7%)、「衣服の着脱」(42.9%)と、身体介護が続いています。

第7期調査と比較すると、「認知症への対応」が4.7ポイント上昇する一方、「衣服の着脱」が6.8ポイント、「屋内の移乗・移動」「食事の介助(食べる時)」「夜間の排泄」などが5.5ポイント、低下しています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっています。一方、『その他』では「食事の準備」や「その他の家事」が80%を超えて高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「衣服の着脱」が53.4%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動
全体	572	25.9	23.3	24.0	25.2	27.4	42.0	25.5
単身世帯	152	19.1	17.8	20.4	20.4	29.6	32.9	23.0
夫婦のみ世帯	163	35.0	31.9	28.2	35.6	29.4	53.4	30.1
その他	257	24.1	21.0	23.3	21.4	24.9	40.1	24.1

	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他
全体	69.1	61.4	42.3	14.5	73.8	80.2	82.5	7.7
単身世帯	68.4	51.3	40.8	9.2	52.6	77.0	81.6	9.9
夫婦のみ世帯	68.1	61.3	36.2	17.2	77.3	79.1	80.4	8.0
その他	70.0	67.3	47.1	16.0	84.0	82.9	84.4	6.2

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護2』では「その他の家事」が最も高くなっていますが、その他の要介護度では全体結果と同様に「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっています。また、「日中の排泄」や「夜間の排泄」、「食事の介助」、「身だしなみ」、「衣服の着脱」などの身体介護については、要介護度が重くなるに従い割合も高くなる傾向にあります。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動
全体	605	26.4	24.0	24.6	25.1	28.3	42.8	26.0
要介護1	305	11.8	10.5	11.8	23.3	15.7	28.9	13.8
要介護2	140	27.1	26.4	28.6	30.0	32.1	50.7	27.1
要介護3	72	47.2	40.3	33.3	34.7	41.7	61.1	40.3
要介護4	55	63.6	60.0	52.7	14.5	50.9	72.7	61.8
要介護5	30	56.7	46.7	66.7	20.0	66.7	53.3	46.7

	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他
全体	68.8	61.7	41.2	14.5	73.9	80.3	82.5	7.4
要介護1	71.5	58.7	43.9	13.8	76.1	83.0	84.9	5.9
要介護2	72.1	61.4	36.4	15.0	76.4	83.6	82.1	9.3
要介護3	61.1	61.1	38.9	5.6	66.7	66.7	76.4	9.7
要介護4	60.0	72.7	41.8	20.0	67.3	74.5	78.2	5.5
要介護5	56.7	76.7	40.0	33.3	70.0	80.0	86.7	13.3

## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『自立』と『Ⅲ(a+b)』では「その他の家事」が、その他の認知症自立度では全体結果と同様に「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっています。また、『Ⅳ及びM』では「服薬」と「衣服の着脱」が80.0%と、他の認知症自立度に比べて特に高くなっています。

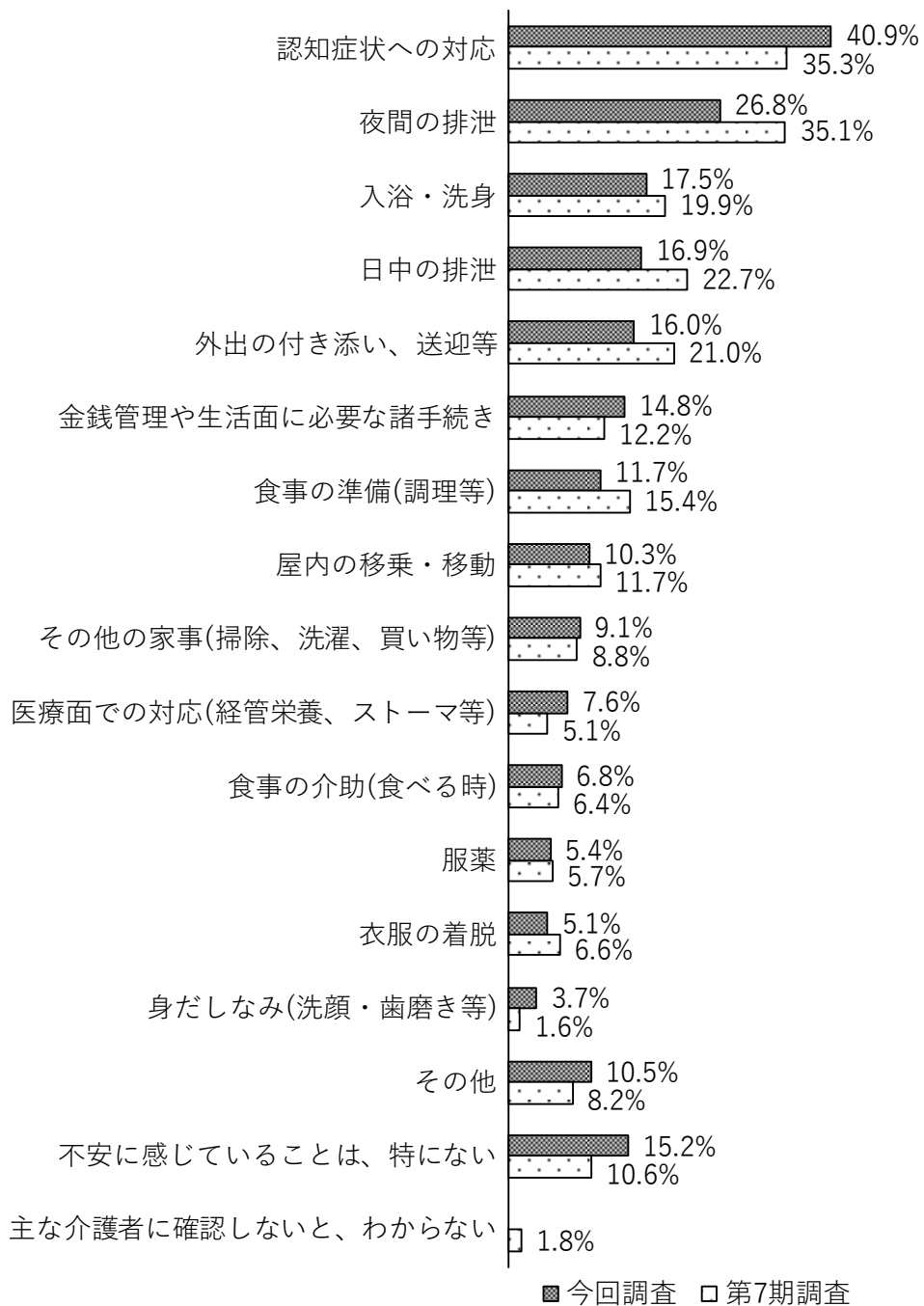
	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動
全体	605	26.4	24.0	24.6	25.1	28.3	42.8	26.0
自立	236	25.0	24.2	25.8	35.2	25.0	44.5	29.7
I	129	24.0	22.5	21.7	20.9	26.4	38.8	21.7
Ⅱ(a+b)	197	24.9	18.8	21.3	17.3	29.9	39.1	21.3
Ⅲ(a+b)	33	48.5	48.5	39.4	18.2	39.4	57.6	39.4
Ⅳ及びM	10	50.0	60.0	50.0	20.0	60.0	80.0	40.0

	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	養、医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	濯、買い物等 (その他の家事(掃除、洗濯、洗い物等))	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他
全体	68.8	61.7	41.2	14.5	73.9	80.3	82.5	7.4
自立	72.9	50.0	8.9	11.4	75.0	81.4	76.7	5.5
I	70.5	69.0	51.9	16.3	79.1	85.3	93.0	7.8
Ⅱ(a+b)	63.5	69.5	67.5	14.7	71.6	76.1	84.8	8.6
Ⅲ(a+b)	66.7	63.6	69.7	27.3	60.6	78.8	66.7	12.1
Ⅳ及びM	60.0	80.0	50.0	20.0	70.0	80.0	90.0	10.0

(5) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)  
【N=514、547(第7期調査)】

主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が40.9%で最も高く、次いで、「夜間の排泄」(26.8%)、「入浴・洗身」(17.5%)と続き、上位3位は身体介護が占めています。一方、「不安に感じていることは、特にない」は15.2%あります。

第7期調査と比較すると、「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が低下している一方で「認知症状への対応」が5.6ポイント上昇しています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「認知症状への対応」が最も高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「食事の介助(食べる時)」が11.8%、「外出の付き添い、送迎等」が26.8%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が16.5%、『その他』では「日中の排泄」が20.5%と、それぞれ他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	489	16.8	26.8	7.0	17.8	3.3	4.9	10.6	16.8
単身世帯	133	13.5	26.3	4.5	15.8	2.3	3.0	10.5	13.5
夫婦のみ世帯	127	13.4	22.8	11.8	20.5	4.7	6.3	9.4	26.8
その他	229	20.5	29.3	5.7	17.5	3.1	5.2	11.4	13.1

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない
全体	5.3	42.1	6.7	11.2	8.8	14.7	10.8	15.3
単身世帯	2.3	39.1	9.0	7.5	8.3	16.5	12.0	17.3
夫婦のみ世帯	7.9	29.1	3.9	15.7	16.5	13.4	13.4	14.2
その他	5.7	51.1	7.0	10.9	4.8	14.4	8.7	14.8

## 利用状況別クロス

利用状況別にみると、『利用した』では「認知症状への対応」が43.3%、「屋内の移乗・移動」が11.2%と、『利用していない』を大きく上回っています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	498	16.7	26.9	7.0	17.9	3.6	5.2	10.2	16.5
利用した	439	16.9	27.1	7.3	17.5	3.2	5.2	11.2	15.7
利用していない	59	15.3	25.4	5.1	20.3	6.8	5.1	3.4	22.0

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等（掃除、その他家事）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない
全体	5.4	41.6	7.6	11.4	9.0	14.9	10.6	14.9
利用した	4.8	43.3	7.5	10.7	9.1	14.8	11.2	14.8
利用していない	10.2	28.8	8.5	16.9	8.5	15.3	6.8	15.3

## ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれのブロックでも全体結果と同様に「認知症状への対応」が最も高く、「夜間の排泄」が続いています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	514	16.9	26.8	6.8	17.5	3.7	5.1	10.3	16.0
北ブロック	159	17.0	28.9	8.2	18.2	1.9	2.5	9.4	11.9
中ブロック	175	17.7	26.3	5.1	17.1	2.9	6.3	8.6	17.1
南ブロック	180	16.1	25.6	7.2	17.2	6.1	6.1	12.8	18.3

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等（掃除、その他の家事）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない
全体	5.4	40.9	7.6	11.7	9.1	14.8	10.5	15.2
北ブロック	4.4	43.4	7.5	10.1	8.2	17.6	10.7	17.0
中ブロック	5.7	37.1	5.1	16.0	10.9	12.6	13.1	13.1
南ブロック	6.1	42.2	10.0	8.9	8.3	14.4	7.8	15.6



## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護3』では「認知症状への対応」と「夜間の排泄」が同率で、その他の要介護度では「認知症状への対応」が、それぞれ最も高くなっています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	513	16.8	26.7	6.8	17.5	3.7	5.1	10.1	16.0
要介護1	262	19.1	30.5	5.3	19.5	3.4	4.6	9.2	15.3
要介護2	116	19.8	25.9	8.6	15.5	2.6	0.9	10.3	20.7
要介護3	60	13.3	26.7	8.3	16.7	3.3	11.7	10.0	16.7
要介護4	46	6.5	13.0	4.3	17.4	4.3	6.5	17.4	13.0
要介護5	26	7.7	19.2	15.4	7.7	11.5	11.5	7.7	3.8

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等（掃除、その他家事）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない
全体	5.5	40.9	7.6	11.7	9.2	14.8	10.5	15.2
要介護1	5.7	47.7	5.3	14.5	11.5	16.0	9.2	13.0
要介護2	6.0	41.4	12.1	7.8	11.2	12.1	9.5	12.1
要介護3	3.3	26.7	5.0	6.7	3.3	13.3	10.0	21.7
要介護4	4.3	32.6	6.5	10.9	4.3	19.6	17.4	23.9
要介護5	7.7	23.1	19.2	11.5	-	11.5	19.2	15.4

## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『自立』では「夜間の排泄」が、その他の認知症自立度では全体結果と同様に「認知症状への対応」が最も高くなっています。

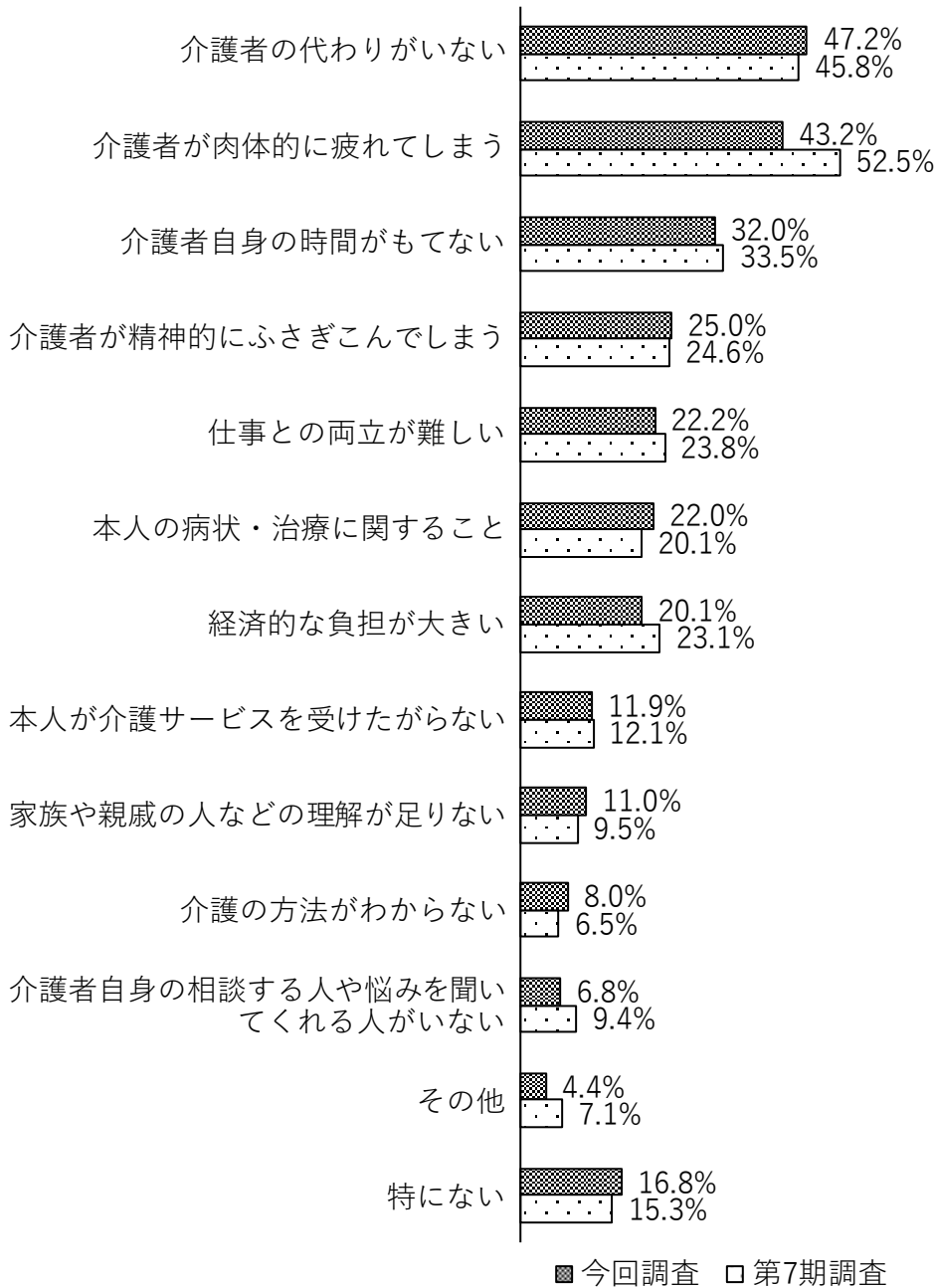
	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	513	16.8	26.7	6.8	17.5	3.7	5.1	10.1	16.0
自立	207	15.0	29.0	5.8	19.3	3.4	4.8	10.1	20.8
I	107	15.9	22.4	5.6	18.7	1.9	3.7	11.2	10.3
II (a+b)	163	20.9	27.6	9.2	14.7	4.3	5.5	8.6	14.1
III (a+b)	28	14.3	25.0	3.6	21.4	10.7	3.6	10.7	17.9
IV及びM	8	-	12.5	12.5	-	-	25.0	25.0	-

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない
全体	5.5	40.9	7.6	11.7	9.2	14.8	10.5	15.2	
自立	2.9	22.7	9.2	15.0	15.0	14.5	7.7	21.3	
I	8.4	49.5	3.7	7.5	5.6	15.0	15.0	15.9	
II (a+b)	6.1	59.5	6.1	11.7	6.1	13.5	12.3	7.4	
III (a+b)	10.7	35.7	14.3	3.6	-	25.0	3.6	17.9	
IV及びM	-	37.5	25.0	12.5	-	12.5	12.5	-	

(6) 主な介護者の方が、介護を行う上で困っていることについて教えてください。  
 (当てはまるものすべてに○) 【N=572、672(第7期調査)】

介護者の困りごとについては、「介護者の代わりがない」が47.2%で最も高く、次いで、「介護者が肉体的に疲れてしまう」(43.2%)、「介護者自身の時間がない」(32.0%)と続いています。一方、「特になし」は16.8%と低く、家族介護の負担が大きいことがうかがえます。

第7期調査と比較すると、「介護者が肉体的に疲れてしまう」が9.3ポイント低下し、「本人の病状・治療に関すること」が1.9ポイント上昇しています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「介護者の代わりがない」が最も高く、「介護者が肉体的に疲れてしまう」が続いています。一方、『単身世帯』では「仕事との両立が難しい」が33.6%あり、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	介護の方法がわからない	本人の病状・治療に関すること	本人が介護サービスを受けたくない	家族や親戚の人などの理解が足りない	介護者自身に相談する人がいない	介護者の代わりがない
全体	539	8.3	22.4	11.9	10.9	6.9	47.5
単身世帯	140	4.3	22.1	11.4	9.3	5.0	39.3
夫婦のみ世帯	154	13.0	28.6	15.6	9.7	10.4	59.1
その他	245	7.8	18.8	9.8	12.7	5.7	44.9

	介護者が精神的にふさぎこんでしまう	介護者が肉体的に疲れてしまう	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	介護者自身の時間がもてない	その他	特にない
全体	24.9	41.9	21.0	22.6	31.9	4.6	16.9
単身世帯	17.1	34.3	17.9	33.6	28.6	2.9	20.7
夫婦のみ世帯	29.2	51.9	23.4	11.7	36.4	5.8	9.7
その他	26.5	40.0	21.2	23.3	31.0	4.9	19.2

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護1』と『要介護2』、『要介護5』では全体結果と同様に「介護者の代わりがない」が、『要介護3』では「介護者が肉体的に疲れてしまう」が、それぞれ最も高くなっています。また、『要介護4』では「介護者の代わりがない」と「介護者が肉体的に疲れてしまう」が同率で高くなっています。一方、「経済的な負担が大きい」や「介護者自身の時間がもてない」などは、要介護度が重くなるに従い割合も高くなる傾向にあります。

	合計	介護の方法がわからない	本人の病状・治療に関すること	本人が介護サービスを受けたくない	家族や親戚の人などの理解が足りない	介護者自身の相談する人がいない	介護者の代わりがない
全体	571	8.1	22.1	11.9	11.0	6.8	47.3
要介護1	292	10.3	22.6	14.4	11.6	6.5	44.9
要介護2	126	4.0	16.7	11.9	7.1	3.2	50.8
要介護3	68	7.4	19.1	8.8	13.2	10.3	42.6
要介護4	53	9.4	28.3	3.8	15.1	11.3	47.2
要介護5	29	3.4	37.9	10.3	10.3	10.3	65.5

	介護者が精神的にふさぎこんでしまう	介護者が肉体的に疲れてしまう	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	介護者自身の時間がもてない	その他	特にない
全体	25.0	43.1	20.1	22.1	31.9	4.4	16.8
要介護1	25.7	38.0	18.2	23.3	26.0	4.5	18.2
要介護2	27.8	46.0	21.4	18.3	34.1	4.0	13.5
要介護3	25.0	52.9	22.1	26.5	45.6	2.9	13.2
要介護4	22.6	47.2	22.6	20.8	32.1	9.4	26.4
要介護5	13.8	55.2	27.6	17.2	51.7	-	6.9

## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『IV及びM』では「介護者の代わりがない」と「介護者自身の時間がもてない」が同率で、その他の認知症自立度では全体結果と同様に「介護者の代わりがない」が最も高くなっています。

	合計	介護の方法がわからない	本人の病状・治療に関すること	本人が介護サービスを受けたくない	家族や親戚の人などの理解が足りない	介護者自身の相談する人や悩みを聞いてくれる人がいない	介護者の代わりがない
全体	571	8.1	22.1	11.9	11.0	6.8	47.3
自立	216	4.2	18.5	9.3	7.9	8.8	47.7
I	120	7.5	18.3	15.0	10.8	4.2	43.3
II (a+b)	195	12.3	26.7	12.3	14.9	6.7	47.7
III (a+b)	30	13.3	30.0	16.7	10.0	3.3	56.7
IV及びM	10	-	30.0	10.0	10.0	10.0	50.0

	介護者が精神的にふさぎこんでしまう	介護者が肉体的に疲れてしまう	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	介護者自身の時間がもてない	その他	特にない
全体	25.0	43.1	20.1	22.1	31.9	4.4	16.8
自立	23.1	44.0	15.7	19.4	31.5	2.8	20.8
I	25.8	42.5	20.8	20.8	29.2	10.0	19.2
II (a+b)	28.2	41.0	22.6	25.1	33.8	3.6	12.3
III (a+b)	23.3	53.3	26.7	30.0	26.7	-	6.7
IV及びM	-	40.0	40.0	10.0	50.0	-	20.0

(7) 主な介護者の方は、介護者どうしが集まり、日頃、介護をしながら抱えている悩みを相談し合ったり、介護法の工夫を紹介し合ったり、情報交換する場があれば、参加したいと思いませんか。(○はひとつ) 【N=558、672(第7期調査)】

介護者どうしが集まり情報交換する場への参加意思については、「あまり参加したくない」が33.7%で最も高く、次いで、「できれば参加したい」(28.3%)、「参加したくない」(17.9%)が続いています。『参加意思のある人』(「積極的に参加したい」と「できれば参加したい」の合計)は31.3%、『参加意思のない人』(「あまり参加したくない」と「参加したくない」の合計)は51.6%と、『参加意思のない人』が大きく上回っています。また、「参加したくてもできない」人は17.0%あります。

今回調査	3.0%	28.3%	33.7%	17.9%	17.0%	
第7期調査	3.3%	28.3%	17.6%	11.6%	14.6%	24.7%
	積極的に参加したい	できれば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	参加したくてもできない	※前回選択肢：わからない

### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『参加意思のある人』は『夫婦のみ世帯』では37.3%あり、他の世帯類型に比べて高くなっています。一方、『単身世帯』では『参加意思のない人』が62.7%と高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「参加したくてもできない」が21.6%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	積極的に参加した	できれば参加した	あまり参加したくない	参加したくない	参加したくてもできない
全体	528	3.2	27.7	34.7	17.8	16.7
単身世帯	137	3.6	19.7	44.5	18.2	13.9
夫婦のみ世帯	153	4.6	32.7	26.8	14.4	21.6
その他	238	2.1	29.0	34.0	19.7	15.1

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護1』と『要介護4』、『要介護5』では『参加意思のある人』が30%を超えています。一方、『参加意思のない人』は『要介護3』以外では50%を超えています。また、『要介護3』では「参加したくてもできない」が26.5%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	積極的に参加した	できれば参加した	あまり参加したくない	参加したくない	参加したくてもできない
全体	557	3.1	28.4	33.6	18.0	17.1
要介護1	282	3.9	29.1	32.6	18.4	16.0
要介護2	122	1.6	24.6	41.0	14.8	18.0
要介護3	68	1.5	27.9	25.0	19.1	26.5
要介護4	52	3.8	32.7	38.5	15.4	9.6
要介護5	30	-	30.0	23.3	30.0	16.7

## 認知症自立度別クロス

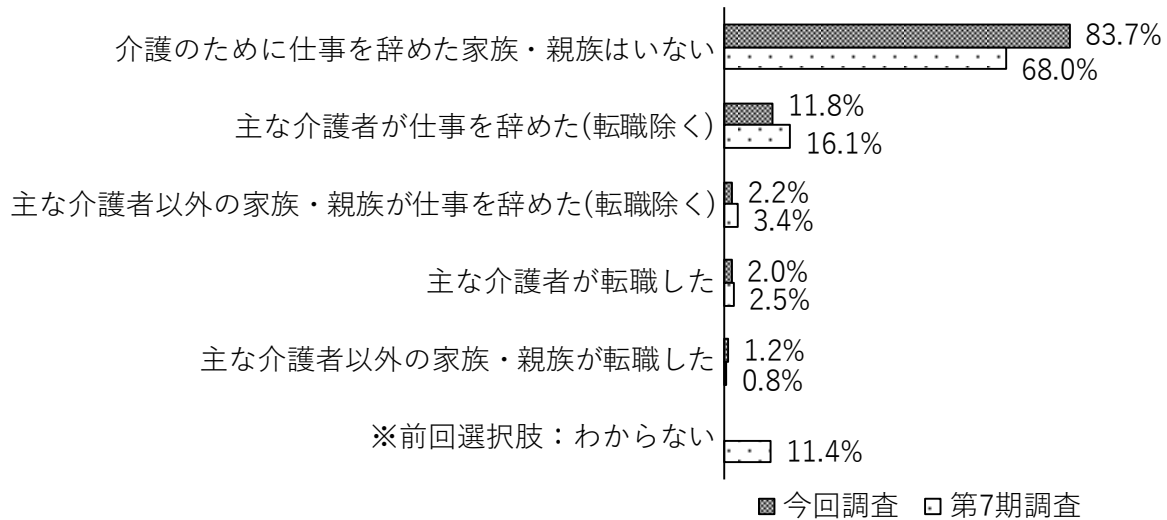
認知症自立度別にみると、『自立』『Ⅰ』『Ⅱ(a+b)』『Ⅲ(a+b)』では『参加意思のある人』が30%を超えています。一方、『参加意思のない人』は『Ⅰ』以外では50%を超えています。また、『Ⅳ及びM』では「参加したくてもできない」が20.0%と、他の認知症自立度に比べて高くなっています。

	合計	積極的に参加した	できれば参加した	あまり参加したくない	参加したくない	参加したくてもできない
全体	557	3.1	28.4	33.6	18.0	17.1
自立	212	1.4	29.2	32.5	18.9	17.9
Ⅰ	115	2.6	33.0	33.0	16.5	14.8
Ⅱ(a+b)	189	5.3	24.9	34.9	17.5	17.5
Ⅲ(a+b)	31	3.2	29.0	35.5	16.1	16.1
Ⅳ及びM	10	-	20.0	30.0	30.0	20.0



(8) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(当てはまるものすべてに○) 【N=490、528(第7期調査)】

過去1年間に介護理由により仕事を辞めた経験については、「介護のための仕事を辞めた家族・親族はいない」が83.7%で最も高くなっています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた」は11.8%となっています。



### 主な介護者別クロス

主な介護者別にみると、『兄弟・姉妹』では「主な介護者が仕事を辞めた」が25.0%と、他の主な介護者に比べて高くなっています。

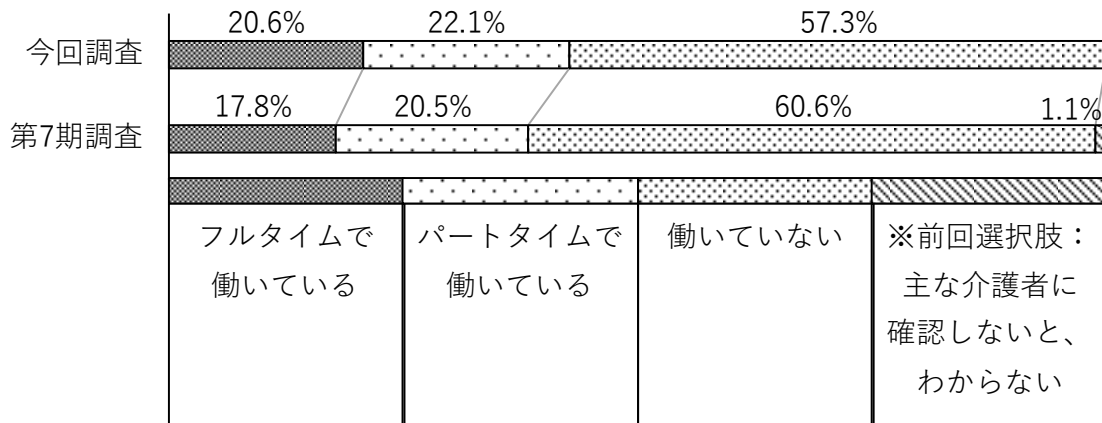
	合計	(転職除く) 主な介護者が仕事を辞めた	が主な介護者以外の家族・親族(転職除く)	主な介護者が転職した	が主な介護者以外の家族・親族が転職した	族介護のためには仕事を辞めた家族・親族はいない
全体	477	11.7	1.9	2.1	0.6	84.3
配偶者	138	10.9	2.2	0.7	-	87.0
子	259	11.2	2.3	3.1	-	83.8
子の配偶者	59	16.9	-	1.7	5.1	78.0
孫	1	-	-	-	-	100.0
兄弟・姉妹	4	25.0	-	-	-	75.0
その他	16	6.3	-	-	-	93.8

## 問7 主な介護者の方の就労について【介護者への質問】

(1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

【N=562、611(第7期調査)】

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が57.3%で最も高く、次いで、「パートタイムで働いている」(22.1%)、「フルタイムで働いている」(20.6%)と続いています。



### 世帯類型別クロス

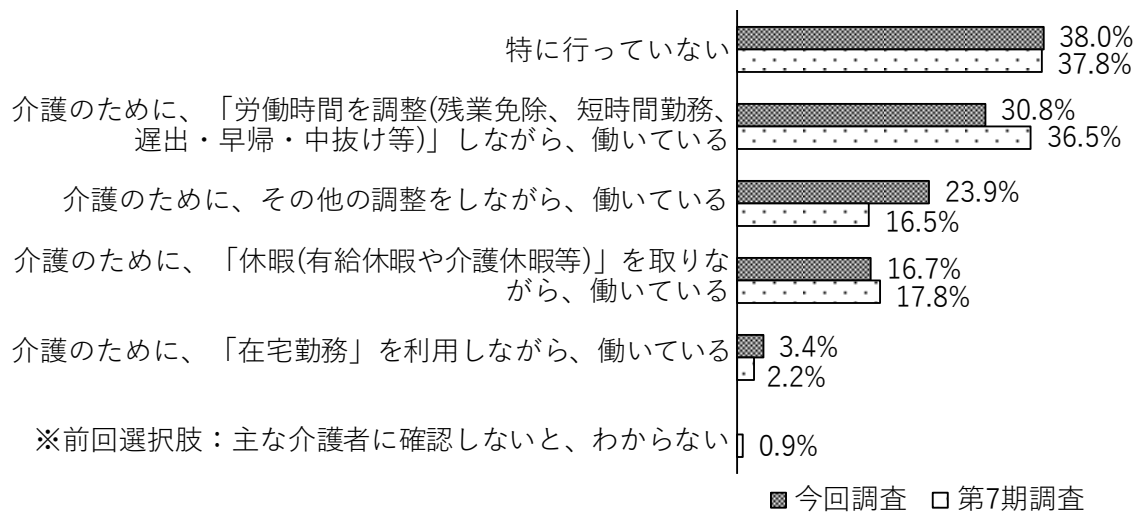
世帯類型別にみると、『夫婦のみ世帯』では「働いていない」が79.2%と突出して高くなっています。一方、『単身世帯』では「フルタイムで働いている」が32.4%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
全体	529	21.0	21.9	57.1
単身世帯	139	32.4	30.2	37.4
夫婦のみ世帯	144	9.7	11.1	79.2
その他	246	21.1	23.6	55.3

【(1)で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」を選んだ人に伺います。下の①②③すべてお答えください。】

(1)-① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(当てはまるものすべてに○) 【N=234、230(第7期調査)】

働き方の調整等については、「特に行っていない」が38.0%で最も高くなっています。次いで、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」(30.8%)、「介護のために、その他の調整をしながら働いている」(23.9%)が続いています。



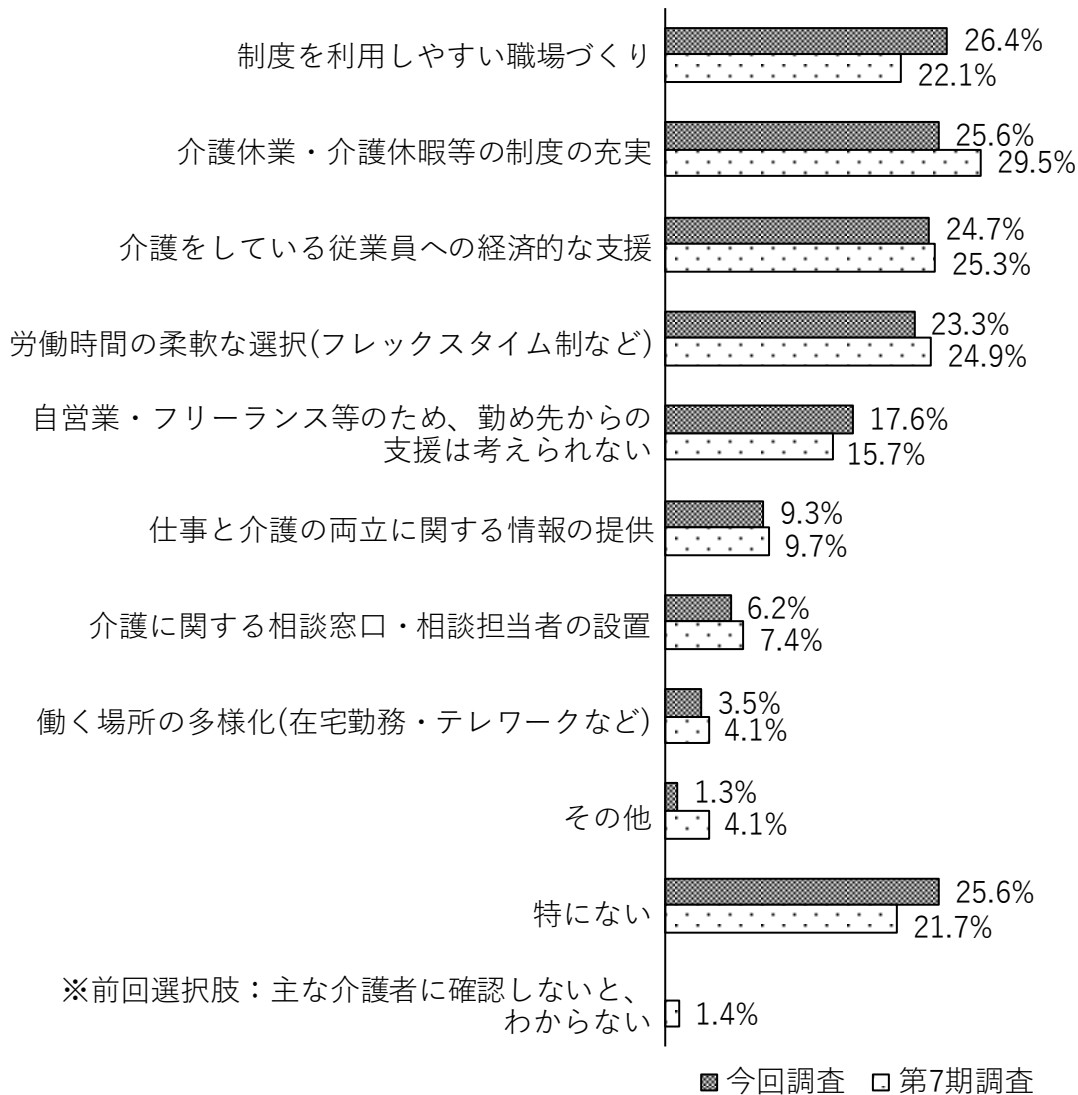
## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が最も高く、その他の要介護度では全体結果と同様に「特に行っていない」が最も高くなっています。また、『要介護2』と『要介護3』では「介護のために、「休暇(有給休暇や介護休暇等)」を取りながら、働いている」がそれぞれ、24.4%、21.9%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	特に行っていない	等)「しながら、働いている	免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け	介護のために、「労働時間を調整(残業	介護のために、「休暇(有給休暇や介護	介護のために、「在宅勤務」を利用しな	がら、働いている	ら、働いている
全体	233	38.2	30.5	16.3	3.4	24.0			
要介護1	122	37.7	30.3	13.1	3.3	26.2			
要介護2	45	33.3	28.9	24.4	6.7	28.9			
要介護3	32	43.8	31.3	21.9	3.1	12.5			
要介護4	21	47.6	23.8	9.5	-	19.0			
要介護5	12	25.0	50.0	16.7	-	25.0			

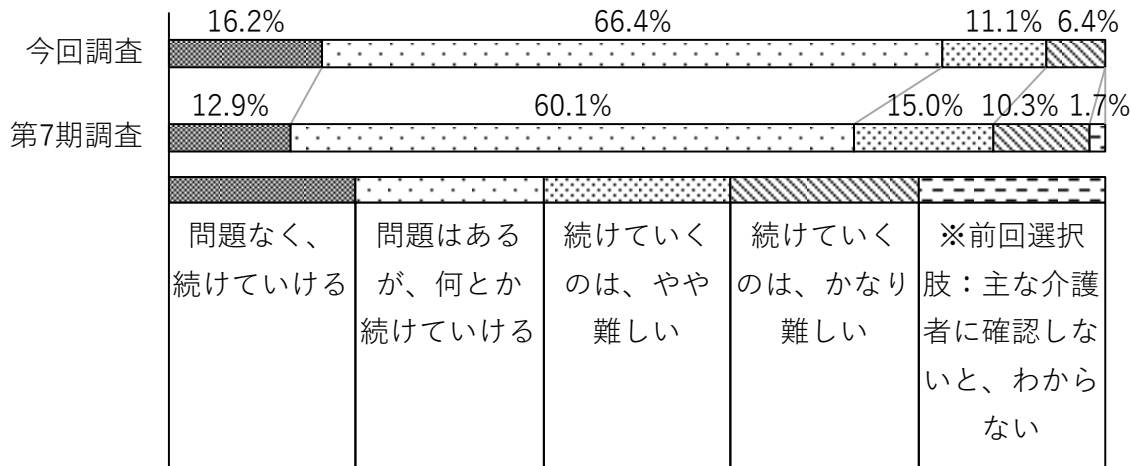
(1)-② 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで) 【N=227、217(第7期調査)】

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.4%で最も高く、次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(25.6%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(24.7%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(23.3)が続いています。一方、「特にない」は25.6%となっています。



(1)-③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ) 【N=235、233(第7期調査)】

今後も働きながら介護を続けていけそうかどうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が66.4%を占め、「問題なく、続けていける」(16.2%)と合わせると、『続けていける』と思っている人は82.6%に上ります。一方、「続けていくのは、かなり難しい」は6.4%、「続けていくのは、やや難しい」は11.1%と、続けていくことを『難しい』と思っている人は17.5%となっています。



### 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『続けていける』と思っている人は、いずれの世帯類型でも80%を超えており、特に『その他』では85.0%と高くなっています。

	合計	問題なく、 続けて	問題 はあ るが 、何 とか 続け てい ける	続け てい く のは 、 やや 難 しい	続け てい く のは 、 かなり 難 しい	※前回 選択 肢： 主な 介護 者に 確認 しな いと、 わか らな い
全体	222	15.8	67.6	10.4	6.3	
単身世帯	85	20.0	61.2	12.9	5.9	
夫婦のみ世帯	30	20.0	63.3	13.3	3.3	
その他	107	11.2	73.8	7.5	7.5	

### 利用状況別クロス

利用状況別にみると、『続けていける』と思っている人は『利用していない』では90.9%と、高くなっています。

	合計	い問 け題 るなく、 続 けて	と問 か題 は あ て る が、 い け る 何	や続 や 難 て し い く の は、	か続 な り 難 い く の は、
全体	226	15.5	67.7	10.6	6.2
利用した	204	15.2	67.2	11.3	6.4
利用していない	22	18.2	72.7	4.5	4.5

### ブロック別クロス

ブロック別にみると、『北ブロック』では『続けていける』と思っている人が88.1%、『南ブロック』では『難しい』と思っている人が23.8%あり、それぞれ他のブロックに比べて高くなっています。

	合計	い問 け題 るなく、 続 けて	と問 か題 は あ て る が、 い け る 何	や続 や 難 て し い く の は、	か続 な り 難 い く の は、
全体	235	16.2	66.4	11.1	6.4
北ブロック	67	20.9	67.2	9.0	3.0
中ブロック	88	13.6	70.5	8.0	8.0
南ブロック	80	15.0	61.3	16.3	7.5

### 要介護度別クロス

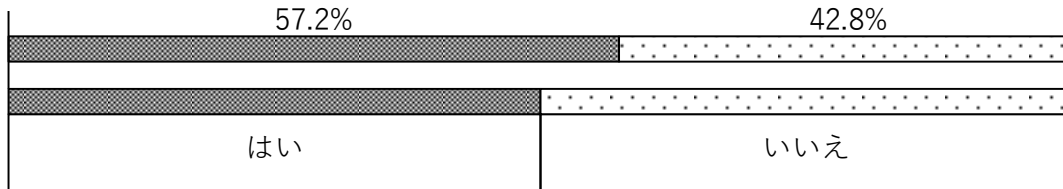
要介護度別にみると、『続けていける』と思っている人は『要介護3』では87.9%と高くなっています。一方、『難しい』と思っている人は『要介護2』では22.2%と高くなっています。

	合計	い問 け題 るなく、 続 けて	と問 か題 は あ て る が、 い け る 何	や続 や 難 て し い く の は、	か続 な り 難 い く の は、
全体	234	16.2	66.7	10.7	6.4
要介護1	122	19.7	63.9	9.0	7.4
要介護2	45	4.4	73.3	17.8	4.4
要介護3	33	15.2	72.7	9.1	3.0
要介護4	21	23.8	57.1	9.5	9.5
要介護5	12	16.7	66.7	8.3	8.3

## 問 8 認知症について【介護者への質問】

(1) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(○はひとつ) 【N=584】

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が57.2%、「いいえ」が42.8%となっています。



### 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『Ⅱ(a+b)』『Ⅲ(a+b)』『Ⅳ及びM』では「はい」が70%以上を占めており、認知度は高くなっています。一方、『自立』では「いいえ」が58.1%と、認知度は低くなっています。

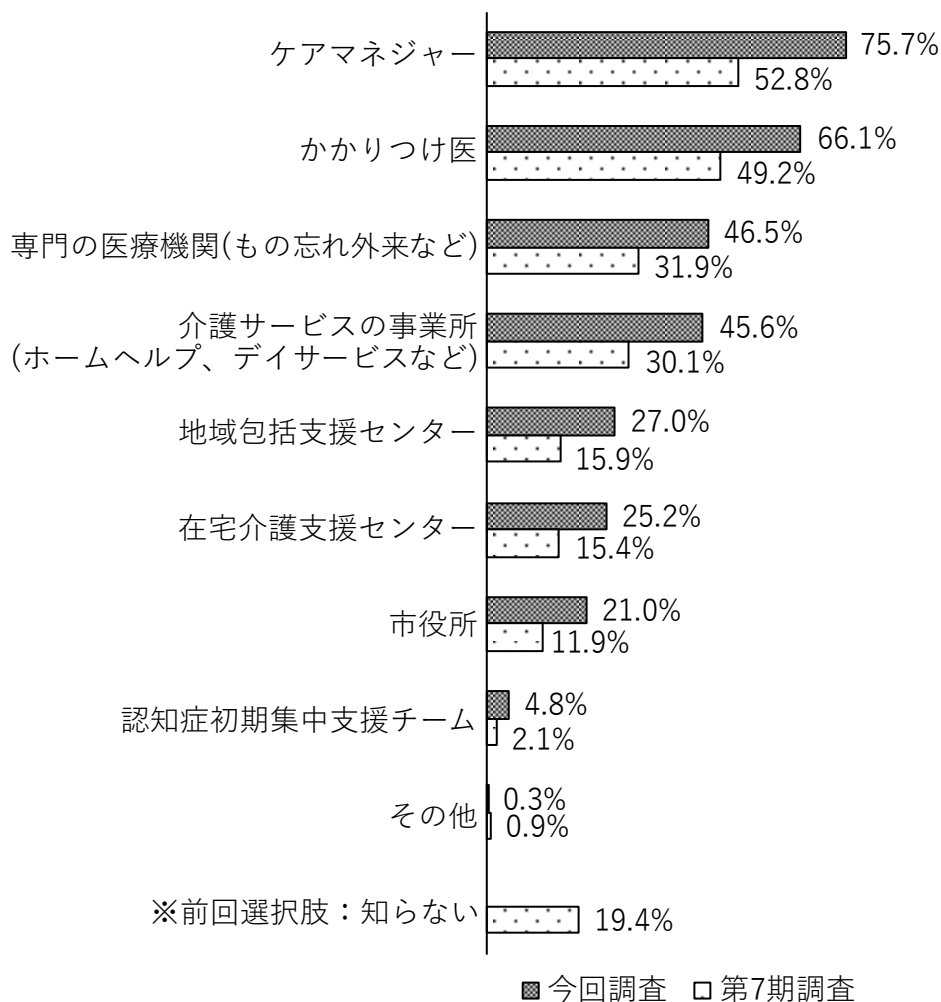
	合計	はい	いいえ
全体	583	57.3	42.7
自立	222	41.9	58.1
I	125	56.0	44.0
Ⅱ(a+b)	196	71.9	28.1
Ⅲ(a+b)	31	74.2	25.8
Ⅳ及びM	9	77.8	22.2



【(1)で「1.はい」を選んだ人に伺います。】

(1)-① 認知症に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=333、655(第7期調査)】

認知症に関する相談窓口については、「ケアマネジャー」が75.7%で最も高く、次いで、「かかりつけ医」(66.1%)、「専門の医療機関(もの忘れ外来など)」(46.5%)が続いています。



## ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれのブロックでも全体結果と同様に「ケアマネジャー」が最も高く、「かかりつけ医」、「専門の医療機関（もの忘れ外来など）」が続いています。一方、『北ブロック』では「地域包括支援センター」が32.3%、「介護サービス事業所」が50.5%と、他のブロックに比べて認知度が高くなっています。

	合計	かかりつけ医	専門の医療機関（もの忘れ外来など）	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	チーム認知症初期集中支援	市役所	ケアマネジャー	介護サービス事業所（ホームヘルプ、デイサービスなど）	その他
全体	333	66.1	46.5	25.2	27.0	4.8	21.0	75.7	45.6	0.3
北ブロック	99	65.7	44.4	21.2	32.3	5.1	20.2	72.7	50.5	-
中ブロック	119	64.7	47.9	27.7	25.2	3.4	21.0	73.9	43.7	-
南ブロック	115	67.8	47.0	26.1	24.3	6.1	21.7	80.0	43.5	0.9

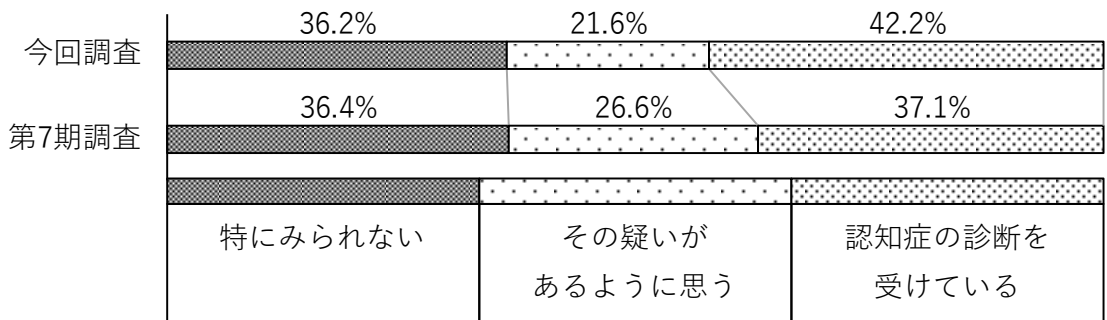
## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『自立』『Ⅰ』『Ⅱ(a+b)』では全体結果と同様に「ケアマネジャー」が最も高く、『Ⅲ(a+b)』では「かかりつけ医」が最も高くなっています。『Ⅳ及びM』では「かかりつけ医」と「ケアマネジャー」が同率で高くなっています。また、『Ⅲ(a+b)』では「認知症初期集中支援チーム」が17.4%、「市役所」が39.1%と、他の認知症自立度に比べて特に高くなっています。『自立』では「地域包括支援センター」が34.8%と、他の認知症自立度に比べて特に高くなっています。

	合計	かかりつけ医	専門の医療機関（もの忘れ外来など）	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	チーム認知症初期集中支援	市役所	ケアマネジャー	介護サービス事業所（ホームヘルプ、デイサービスなど）	その他
全体	333	66.1	46.5	25.2	27.0	4.8	21.0	75.7	45.6	0.3
自立	92	54.3	48.9	25.0	34.8	2.2	19.6	71.7	34.8	-
Ⅰ	70	64.3	40.0	25.7	21.4	5.7	17.1	72.9	52.9	-
Ⅱ(a+b)	141	71.6	46.8	25.5	25.5	4.3	22.0	79.4	48.2	0.7
Ⅲ(a+b)	23	87.0	56.5	30.4	26.1	17.4	39.1	82.6	56.5	-
Ⅳ及びM	7	57.1	42.9	-	14.3	-	-	57.1	28.6	-

(2) ご本人(封筒のあて名の方)には認知症の症状がみられますか。(○はひとつ)  
**【N=566、685(第7期調査)】**

認知症の症状については、「認知症の診断を受けている」が42.2%で最も高く、「その疑いがあるように思う」が21.6%となっています。一方、「特にみられない」は36.2%となっています。  
 第7期調査と比較すると、「認知症の診断を受けている」が5.1ポイント上昇しています。



**性・年齢別クロス**

性・年齢別にみると、『75～84歳女』と『85歳以上』の男女では「認知症の診断を受けている」が最も高く、その他の性・年齢では「特にみられない」が最も高くなっています。

		合計	特にみられない	よその疑いがある	受認知症の診断を
64歳以下	全	9	77.8	-	22.2
	男	3	66.7	-	33.3
	女	6	83.3	-	16.7
65～74歳	全	68	58.8	19.1	22.1
	男	30	53.3	23.3	23.3
	女	38	63.2	15.8	21.1
75～84歳	全	189	38.6	21.2	40.2
	男	90	50.0	18.9	31.1
	女	99	28.3	23.2	48.5
85歳以上	全	300	28.3	23.0	48.7
	男	69	33.3	20.3	46.4
	女	231	26.8	23.8	49.4

## 認知症自立度別クロス

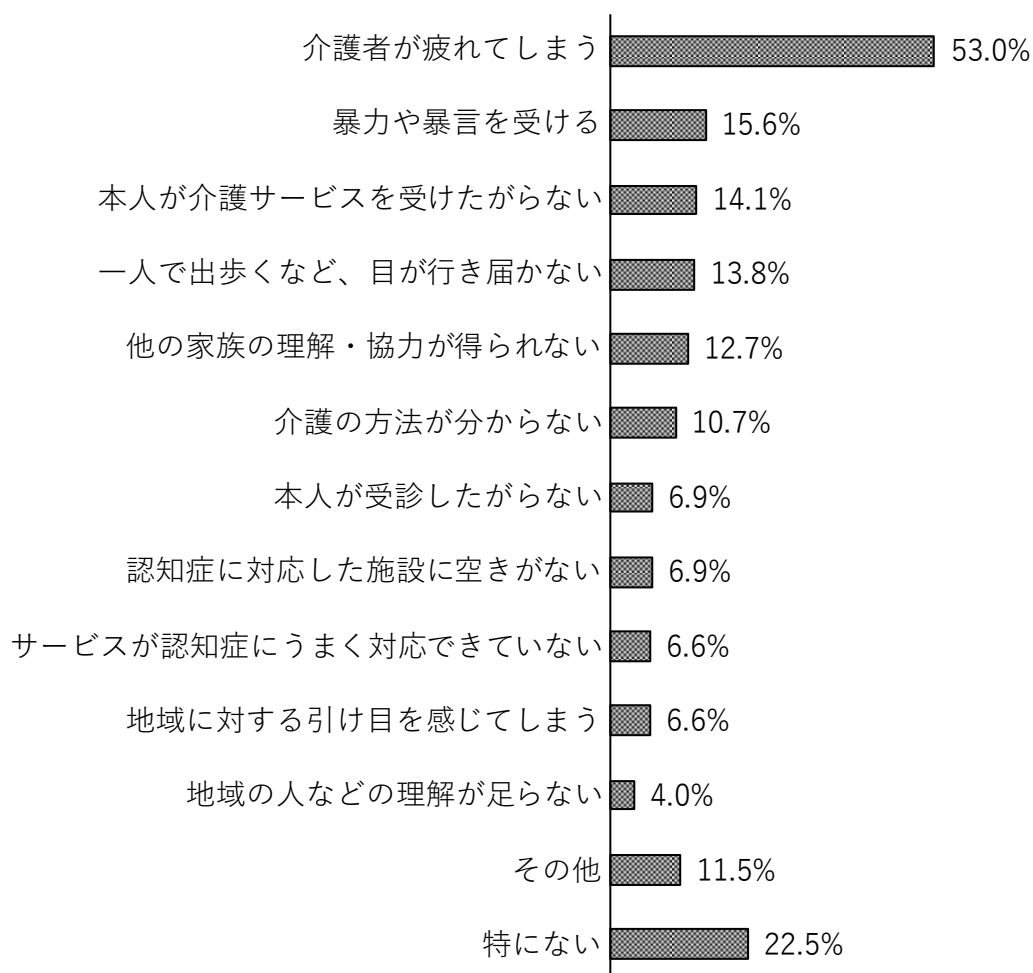
認知症自立度別にみると、『II(a+b)』『III(a+b)』『IV及びM』では「認知症の診断を受けている」が75%以上と高く、特に『IV及びM』では100%となっています。一方、『自立』では「特にみられない」が73.5%と高くなっています。また、『I』では「その疑いがあるように思う」が39.5%と、他の認知症自立度に比べて特に高くなっています。

	合計	特にみられない	よその疑いがある	受け知症の診断を
全体	565	36.3	21.4	42.3
自立	219	73.5	19.6	6.8
I	119	19.3	39.5	41.2
II(a+b)	188	10.1	14.4	75.5
III(a+b)	30	6.7	13.3	80.0
IV及びM	9	-	-	100.0

【(2)で「2.その疑いがあるように思う」「3.認知症の診断を受けている」を選んだ人に伺います。】

(2)-① 認知症に対して、介護者(主に介護している人)が困っていることは何ですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=347】

認知症に対して介護者が困っていることについては、「介護者が疲れてしまう」が53.0%で最も高く、次いで、「暴力や暴言を受ける」(15.6%)、「本人が介護サービスを受けたがらない」(14.1%)が続いています。一方、「特にない」は22.5%となっています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも全体結果と同様に「介護者が疲れてしまう」が最も高くなっています。次いで、『単身世帯』と『その他』では「特にない」が、『夫婦のみ世帯』では「暴力や暴言を受ける」が続いています。

	合計	が一人で出歩かないなど、目	暴力や暴言を受ける	い本人が受診した	本人が受診した	まサービスクラスが認知症に	に認知症に対応した施設
全体	328	14.3	15.2	7.0	14.3	6.4	7.0
単身世帯	100	10.0	6.0	5.0	10.0	4.0	8.0
夫婦のみ世帯	72	22.2	27.8	8.3	19.4	12.5	9.7
その他	156	13.5	15.4	7.7	14.7	5.1	5.1

	い介護の方法が分からない	が他の家族の理解・協力	介護者が疲れてしまう	感じている引け目を	足らない人などの理解が	その他	特にない
全体	10.7	12.8	52.1	6.7	4.3	12.2	23.2
単身世帯	11.0	16.0	43.0	4.0	1.0	10.0	35.0
夫婦のみ世帯	15.3	6.9	63.9	9.7	11.1	9.7	11.1
その他	8.3	13.5	52.6	7.1	3.2	14.7	21.2

## 主な介護者別クロス

主な介護者別にみると、『その他』では「一人で出歩くなど、目が行き届かない」が、その他の主な介護者では「介護者が疲れてしまう」が、それぞれ最も高くなっています。

	合計	が一人で出歩くなど、目 が行き届かない	暴力や暴言を受ける	い本人が受診した がらない	受本人が介護サ ービスを	ま く サ ー ビ ス が 認 知 症 に う	に 認 知 症 に 対 応 し た 施 設
全体	341	13.8	15.5	6.7	14.4	6.5	6.7
配偶者	92	15.2	23.9	9.8	17.4	8.7	7.6
子	192	11.5	10.9	5.7	14.1	6.3	7.3
子の配偶者	47	17.0	17.0	4.3	10.6	4.3	2.1
孫	1	-	-	-	-	-	-
兄弟・姉妹	-	-	-	-	-	-	-
その他	9	33.3	22.2	11.1	11.1	-	11.1

	い介護の方法が 分からない	が他の家族の理 解・協力	介 護 者 が 疲 れ て し ま う	感 じ て し ま う 引 け 目 を	足 ら な い 理 解 が	そ の 他	特 に な い
全体	10.3	12.9	52.8	6.7	4.1	11.7	22.3
配偶者	10.9	7.6	55.4	10.9	6.5	9.8	17.4
子	10.9	14.1	52.6	6.3	3.6	10.4	25.5
子の配偶者	6.4	21.3	55.3	2.1	2.1	21.3	19.1
孫	-	-	100.0	-	-	-	-
兄弟・姉妹	-	-	-	-	-	-	-
その他	11.1	-	11.1	-	-	11.1	22.2

## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『IV及びM』では「特にない」が最も高くなっていますが、その他の認知症自立度では全体結果と同様に「介護者が疲れてしまう」が最も高くなっています。一方、『IV及びM』では「本人が介護サービスを受けたがらない」と「認知症に対応した施設に空きがない」がそれぞれ28.6%と、他の認知症自立度に比べて高くなっています。

	合計	が一人で行き届かなくなど、目	暴力や暴言を受ける	い本人が受診したがらな	受本人が介護サービスを受	まサービスク対応できていない	に認知症に対応した施設に空きがない
全体	346	13.9	15.6	6.9	14.2	6.6	6.9
自立	58	10.3	12.1	1.7	8.6	5.2	3.4
I	92	6.5	16.3	8.7	17.4	5.4	2.2
II (a+b)	162	17.9	14.2	7.4	14.2	5.6	9.3
III (a+b)	27	22.2	29.6	7.4	11.1	18.5	11.1
IV及びM	7	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6

	い介護の方法が分からない	が他の家族の理解・協力が得られない	介護者が疲れてしまう	感じ地域に対する引け目を	足らない地域の人などの理解が	その他	特にない
全体	10.7	12.7	52.9	6.6	4.0	11.6	22.5
自立	5.2	17.2	50.0	6.9	3.4	13.8	31.0
I	12.0	8.7	55.4	3.3	3.3	12.0	22.8
II (a+b)	13.6	14.8	55.6	9.3	4.9	9.9	19.8
III (a+b)	3.7	7.4	40.7	3.7	-	14.8	14.8
IV及びM	-	-	28.6	-	14.3	14.3	42.9



## 問9 これからの高齢者介護について【介護者への質問】

(1) 主な介護者の方は、今後、どのように介護をしていきたいとお考えですか。(○はひとつ) 【N=581、695(第7期調査)】

今後、どのように介護をしていきたいかについては、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」が54.9%と最も高く、次いで、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい」(28.9%)、「わからない」(12.4%)が続いています。一方、「介護保険制度を利用せず、家族で介護していきたい」は3.8%となっています。

第7期調査と比較すると、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」が1.9ポイント低下し、「わからない」が1.9ポイント、「介護保険制度を利用せず、家族で介護していきたい」が1.2ポイント、それぞれ上昇しています。

	3.8%	54.9%	28.9%	12.4%
今回調査				
第7期調査				
	介護保険制度を利用せず、家族で介護していきたい	ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい	わからない

### ブロック別クロス

ブロック別にみると、全体結果と同様にいずれのブロックでも「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」が最も高くなっています。

	合計	家族で介護していきたくない	介護保険制度を利用せず、 介保で在宅を継続させたい	ホームヘルプやデイサービスを受けて	特別養護老人ホームや老人 保健施設などの施設に入所 してもいいたい	わからない
全体	581	3.8	54.9	28.9	12.4	
北ブロック	182	3.8	52.7	30.2	13.2	
中ブロック	205	2.9	58.5	27.3	11.2	
南ブロック	194	4.6	53.1	29.4	12.9	

### 要介護度別クロス

要介護度別にみると、全体結果と同様にいずれの要介護度でも「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」が最も高くなっています。特に、『要介護5』では64.3%と、他の要介護度に比べて高くなっています。また、『要介護5』では「介護保険制度を利用せず、家族で介護していきたくない」も10.7%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	家族で介護していきたくない	介護保険制度を利用せず、 介保で在宅を継続させたい	ホームヘルプやデイサービスを受けて	特別養護老人ホームや老人 保健施設などの施設に入所 してもいいたい	わからない
全体	580	3.8	54.8	29.0	12.4	
要介護1	296	3.0	56.1	31.1	9.8	
要介護2	133	3.0	55.6	28.6	12.8	
要介護3	69	5.8	46.4	31.9	15.9	
要介護4	51	3.9	49.0	23.5	23.5	
要介護5	28	10.7	64.3	14.3	10.7	

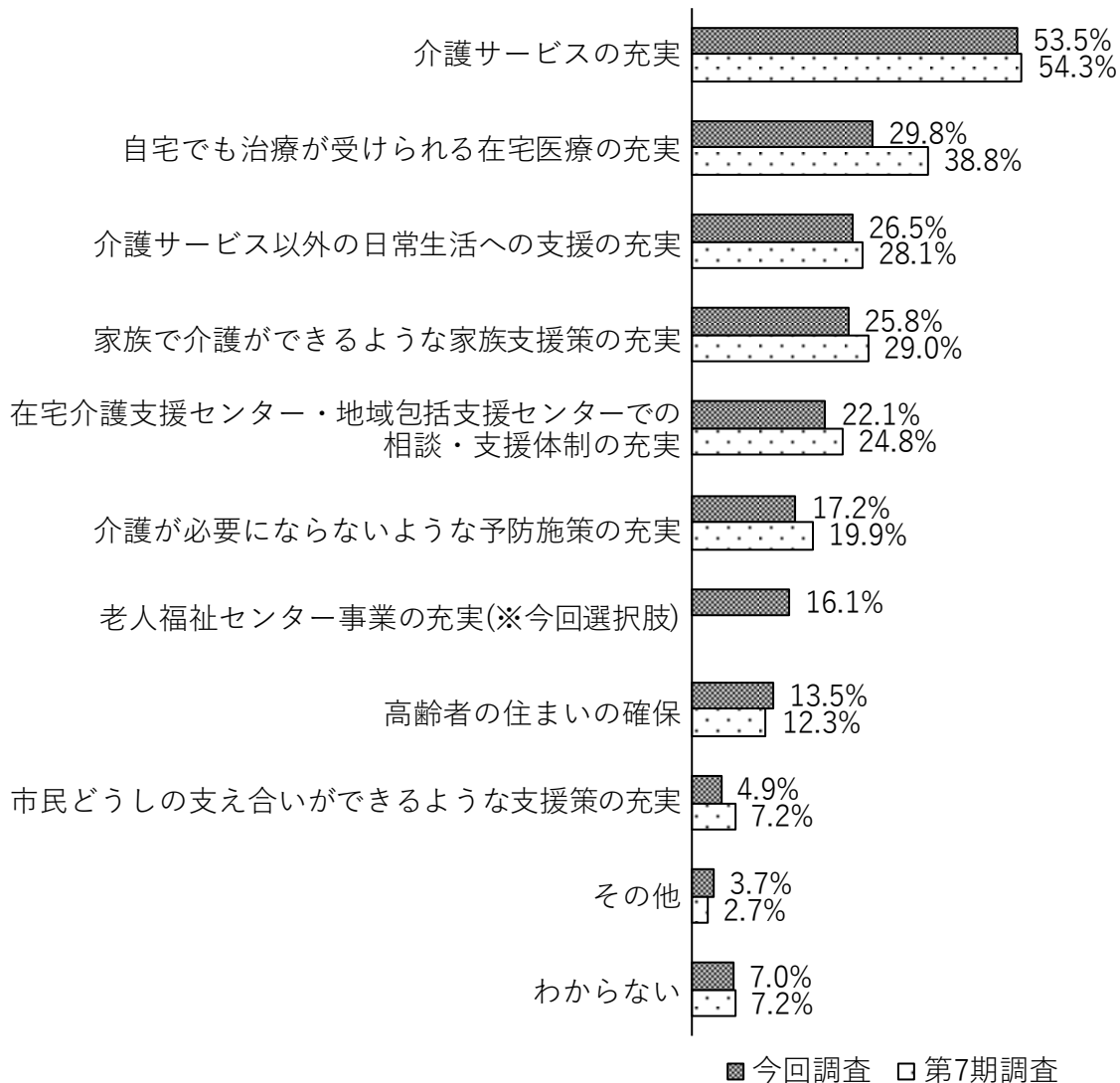
## 認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、全体結果と同様にいずれの認知症自立度でも「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」が最も高くなっています。特に、『自立』では63.0%と、他の認知症自立度に比べて高くなっています。また、『II(a+b)』では「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい」が41.1%と、他の認知症自立度に比べて高くなっています。

	合計	家族介護で保険制度を利用していきたくない	介護保険制度を利用せず、在宅を継続させたい	ホームヘルプやデイサービスを受けたい	特別養護老人ホームや老人保健施設に入所したい	わからない
全体	580	3.8	54.8	29.0	12.4	
自立	227	5.3	63.0	17.2	14.5	
I	125	0.8	54.4	29.6	15.2	
II(a+b)	190	3.7	47.4	41.1	7.9	
III(a+b)	29	6.9	44.8	37.9	10.3	
IV及びM	9	-	44.4	33.3	22.2	

(2) 高齢者への介護体制の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで) 【N=570、693(第7期調査)】

高齢者への介護体制の充実のため、行政に希望することについては、「介護サービスの充実」が53.5%で最も高く、次いで、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」(29.8%)、「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」(26.5%)、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」(25.8%)が続いています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」が、『夫婦のみ世帯』では「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が、『その他』では「家族で介護ができるような家族支援施策の充実」が、それぞれ2番目に高くなっています。また、『単身世帯』では「高齢者の住まいの確保」が、『夫婦のみ世帯』では「在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実」が、それぞれ他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実	介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	老人福祉センター事業の充実	高齢者の住まいの確保	その他	わからない
全体	538	29.4	17.5	25.8	4.8	21.6	53.9	25.8	16.5	14.1	3.9	7.2
単身世帯	138	25.4	17.4	22.5	6.5	18.8	52.9	32.6	18.8	20.3	5.1	5.1
夫婦のみ世帯	154	35.1	24.0	23.4	3.9	27.9	50.6	19.5	13.0	9.7	4.5	6.5
その他	246	28.0	13.4	29.3	4.5	19.1	56.5	26.0	17.5	13.4	2.8	8.9

## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護4』では「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が、その他の要介護度では「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が、それぞれ2番目に高くなっています。

	合計	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実	介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	老人福祉センター事業の充実	高齢者の住まいの確保	その他	わからない
全体	569	29.9	17.2	25.7	4.9	22.1	53.4	26.4	16.2	13.5	3.7	7.0
要介護1	290	27.6	19.3	24.5	5.2	24.8	52.4	25.9	16.6	13.4	3.1	8.6
要介護2	126	31.7	11.9	27.0	6.3	20.6	59.5	31.0	17.5	12.7	4.8	2.4
要介護3	69	34.8	15.9	23.2	1.4	18.8	44.9	27.5	18.8	15.9	1.4	10.1
要介護4	52	21.2	23.1	28.8	-	21.2	50.0	19.2	15.4	19.2	5.8	7.7
要介護5	29	44.8	13.8	31.0	3.4	10.3	62.1	24.1	3.4	3.4	6.9	3.4

## 認知症自立度別クロス

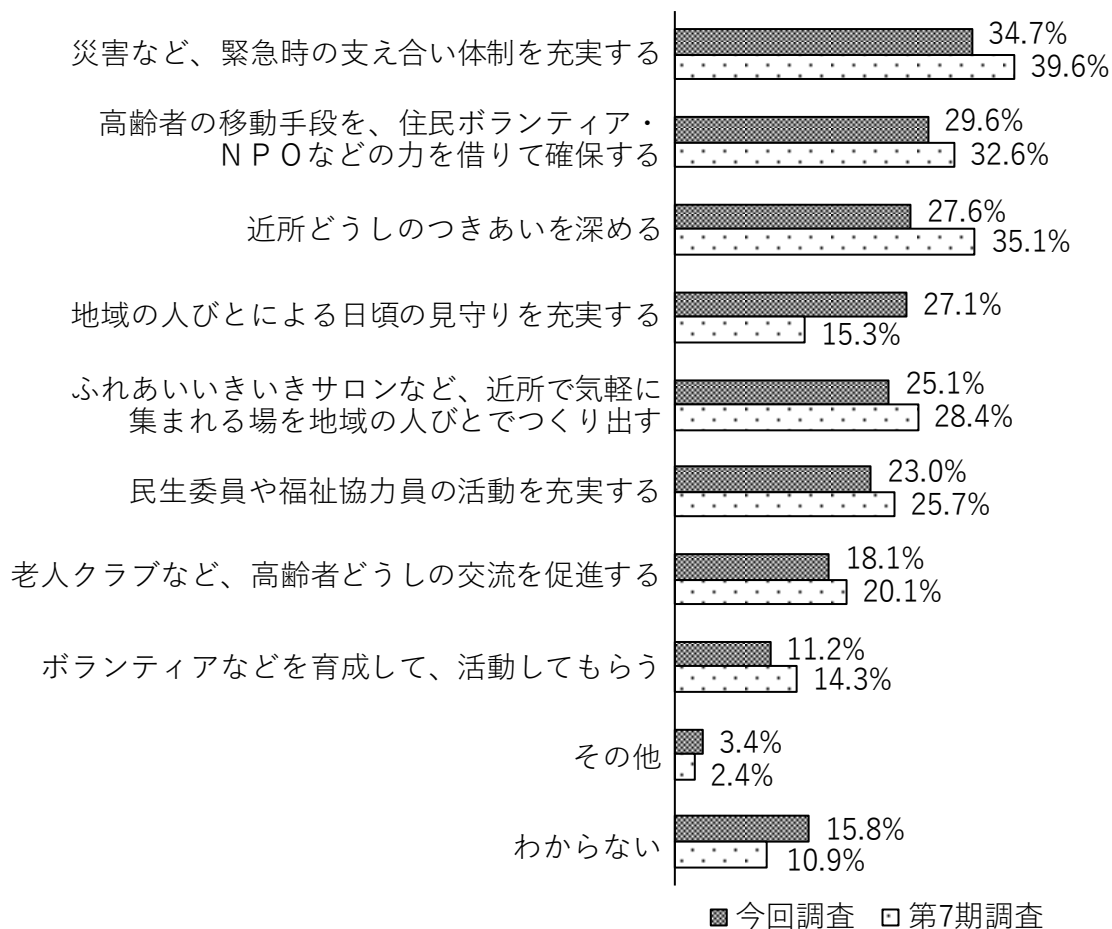
認知症自立度別にみると、『IV及びM』では「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」と「介護サービスの充実」が同率で、その他の認知症自立度では「介護サービスの充実」が、それぞれ最も高くなっています。

	合計	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	包括支援センターでの相談・地域支援体制の充実	在宅介護支援センター・地域	介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	老人福祉センター事業の充実	高齢者の住まいの確保	その他	わからない
全体	569	29.9	17.2	25.7	4.9	22.1	53.4	26.4	16.2	13.5	3.7	7.0	
自立	218	35.8	13.8	31.7	4.6	22.9	52.3	28.0	13.3	8.3	1.4	9.2	
I	122	32.0	19.7	21.3	5.7	17.2	49.2	21.3	18.0	16.4	4.9	7.4	
II (a + b)	189	22.2	20.6	20.6	4.8	24.3	56.1	29.6	18.0	16.9	5.3	5.8	
III (a + b)	31	19.4	12.9	29.0	6.5	19.4	61.3	19.4	19.4	16.1	3.2	-	
IV及びM	9	55.6	11.1	33.3	-	33.3	55.6	11.1	11.1	22.2	11.1	-	

(3) 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで) 【N=565、680(第7期調査)】

高齢者が地域で暮らし続けるために重要なことについては、「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が34.7%で最も高く、次いで、「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」(29.6%)、「近所どうしのつきあいを深める」(27.6%)が続き、緊急時対策や移動支援、交流機会が重視されています。

第7期調査と比較すると、「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」が11.8ポイント上昇する一方、「近所どうしのつきあいを深める」は7.5ポイント低下しています。



## 世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『夫婦のみ世帯』では「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が、『単身世帯』と『その他』では全体結果と同様「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が最も高くなっています。

	合計	老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する	近所どうしのつきあいを深める	地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	ふれあいいきいきサロンなど、近所できいきいきする場を地域の人がつくり出す	民生委員や福祉協力員の活動を充実する	ボランティアなどを育成して、活動してもらおう	高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する	災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	その他	わからない
全体	535	18.7	27.9	24.9	27.5	23.0	11.0	30.3	34.2	3.6	15.1
単身世帯	142	21.8	26.1	24.6	28.9	24.6	12.7	26.1	33.8	4.2	14.8
夫婦のみ世帯	155	17.4	29.7	25.8	25.2	25.2	14.2	36.1	31.6	2.6	13.5
その他	238	17.6	27.7	24.4	28.2	20.6	8.0	29.0	36.1	3.8	16.4



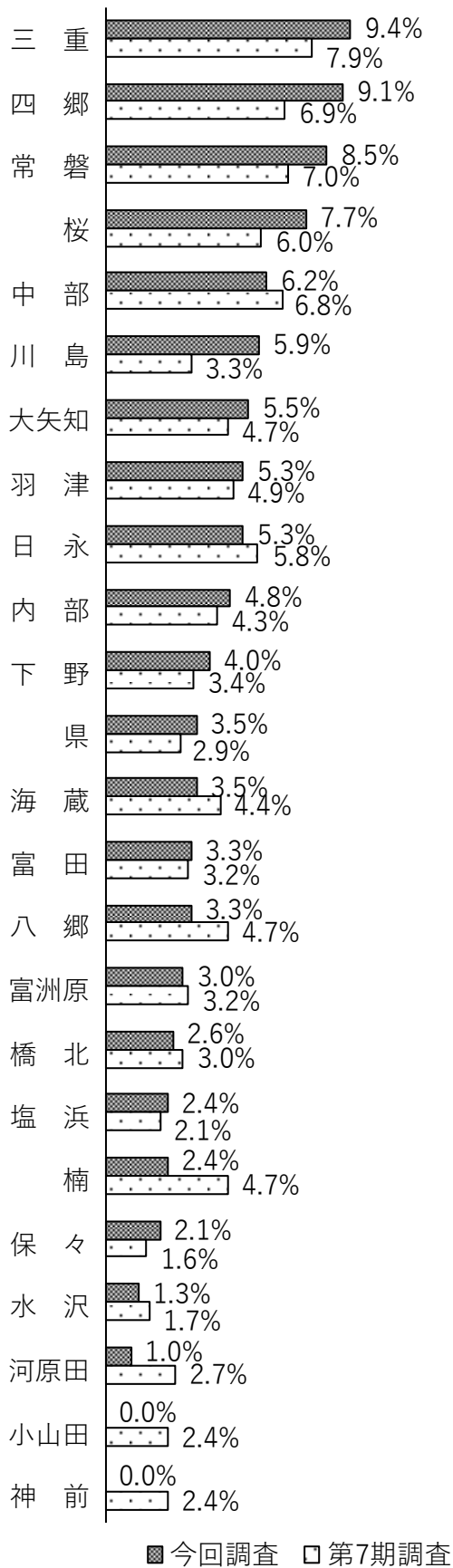
## 要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護1』『要介護2』『要介護4』では全体結果と同様に「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が最も高くなっています。また、『要介護3』では「近所どうしのつきあいを深める」と「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が、『要介護5』では「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」と「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が、それぞれ同率で高くなっています。

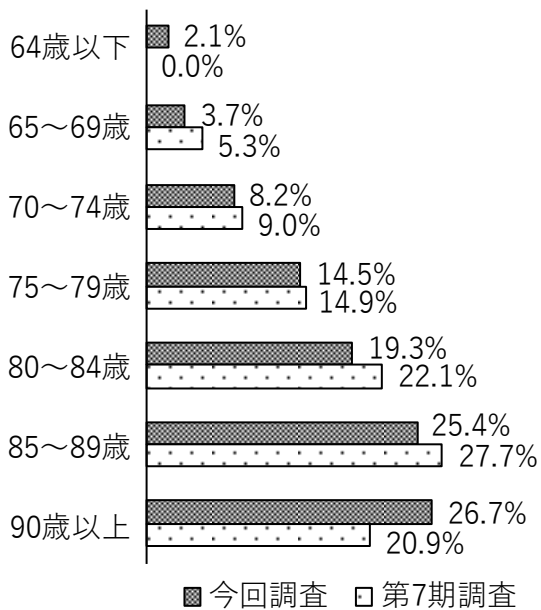
	合計	老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する	近所どうしのつきあいを深める	地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	ふれあいいきいきサロンなど、近所できいき集まれる場所の人びとでつくり出す	民生委員や福祉協力員の活動を充実する	ボランティアなどを育成して、活動してもらおう	高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する	災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	その他	わからない
全体	564	18.1	27.7	25.0	27.1	23.0	11.2	29.6	34.8	3.4	15.8
要介護1	288	19.1	27.4	25.3	27.8	25.0	10.8	29.2	34.4	1.7	13.5
要介護2	126	18.3	26.2	26.2	23.8	21.4	15.9	27.8	34.9	5.6	17.5
要介護3	67	13.4	32.8	19.4	26.9	19.4	7.5	32.8	25.4	3.0	26.9
要介護4	53	20.8	22.6	28.3	24.5	22.6	9.4	28.3	49.1	5.7	11.3
要介護5	27	11.1	33.3	25.9	37.0	18.5	3.7	37.0	33.3	7.4	14.8

## 属性情報

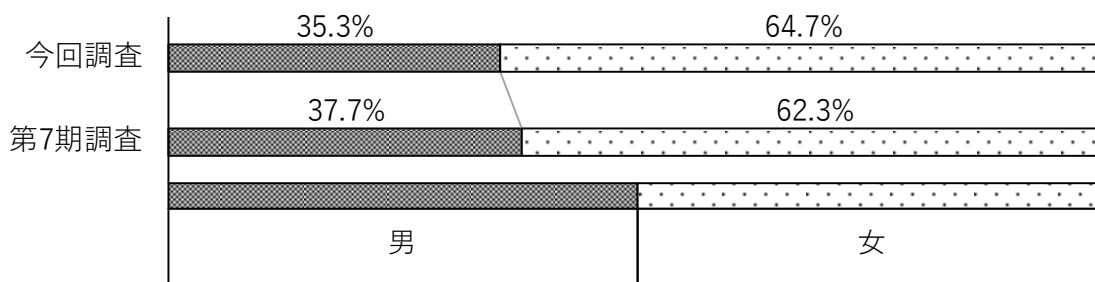
## 居住地区



年齢



性別



要介護度

